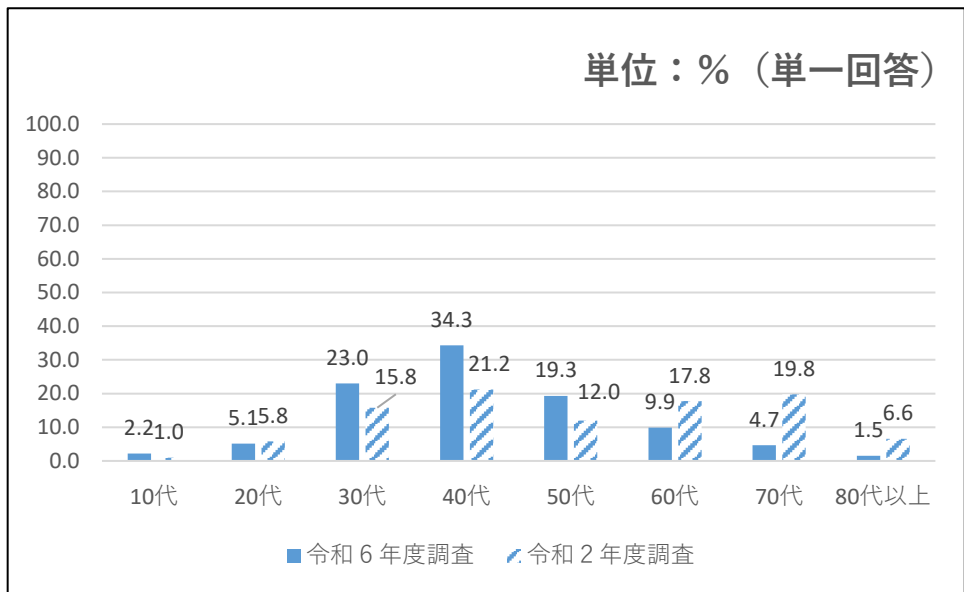


	令和6年度調査	令和2年度調査
調査方法	eマーケティングリサーチ（Web調査）	郵送・eマーケティングリサーチ
回答期間	R6.5.20～R6.5.31（12日間）	R2.4.20～R2.4.30（11日間）
対象者数	516名（登録者）	郵送1500名・eマーケ235名
有効回答数	274名	郵送537名・eマーケ160名
回答率	53.1%	郵送35.8%・eマーケ68.1%

※計画を見直すこととなった場合は、令和6年度も郵送によるアンケートを実施予定。

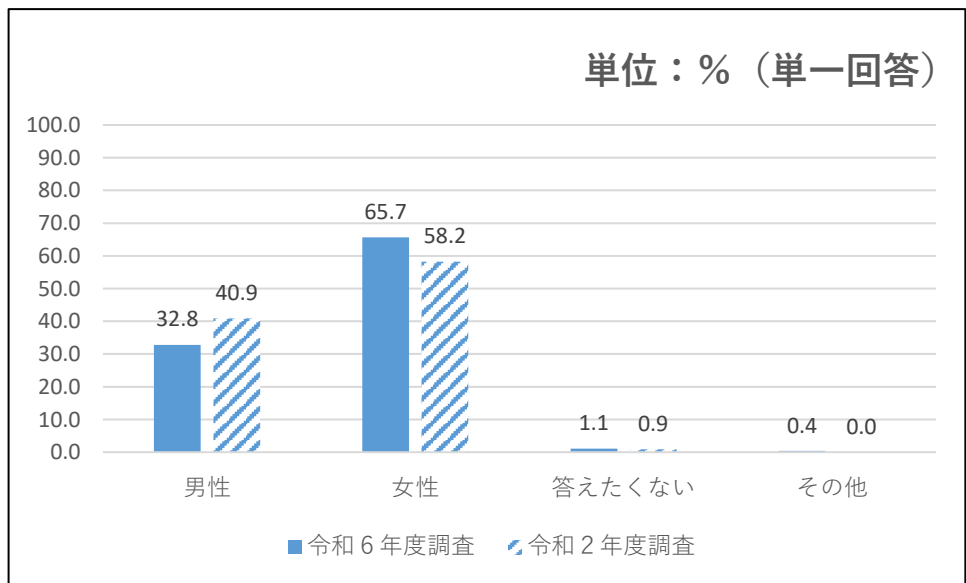
【属性情報】

問1. 年齢



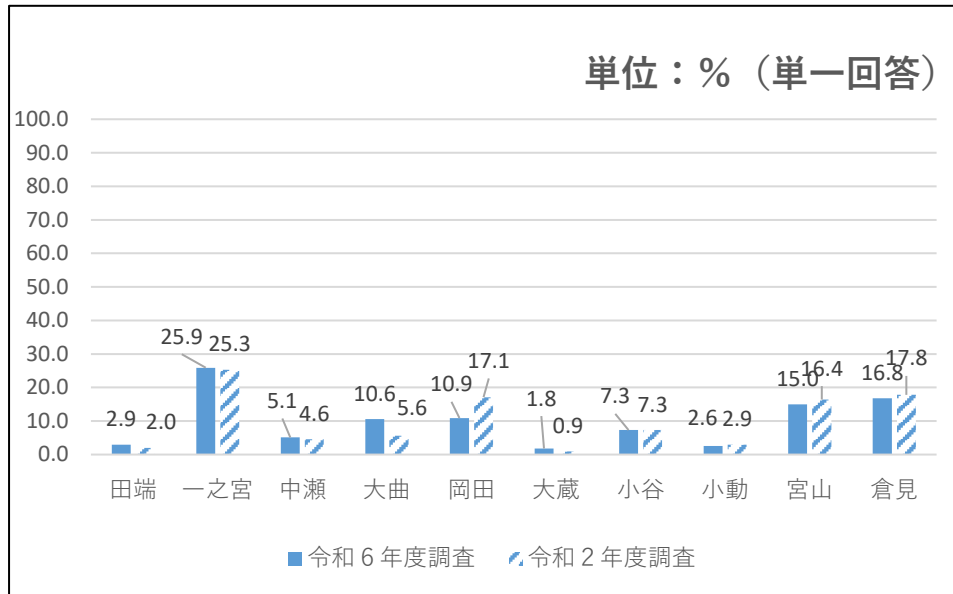
※令和6年度はeマーケティングリサーチ調査のみのため、30代～40代の回答割合が多い。

問2. 性別



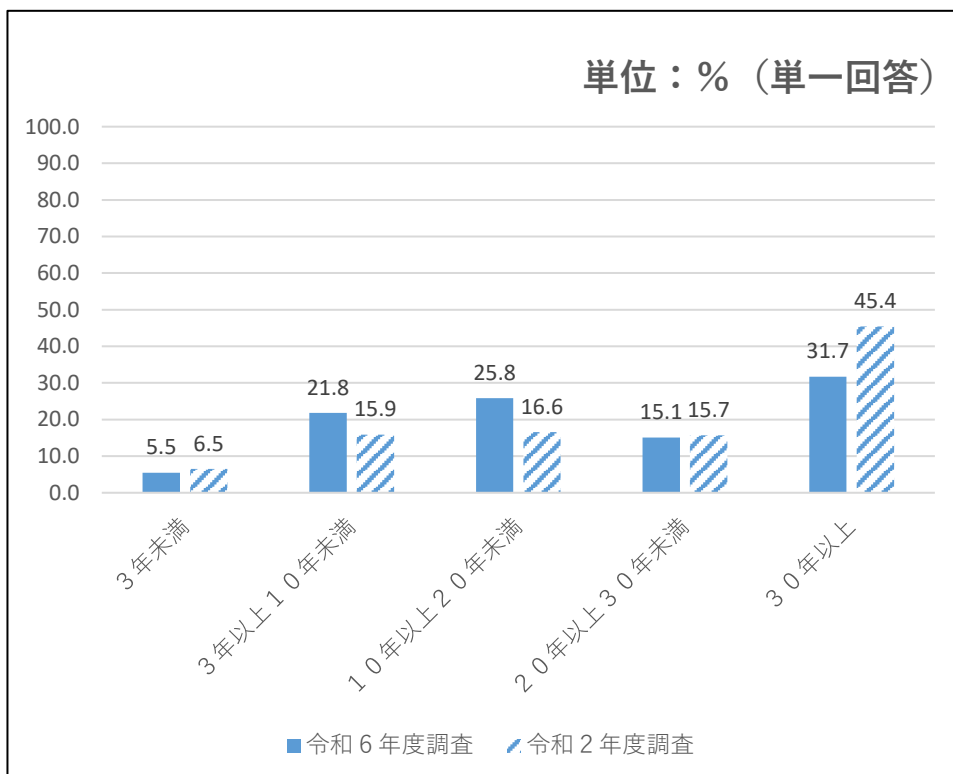
※令和6年度・令和2年度ともに女性の回答割合が多い。

問3. お住いの地域



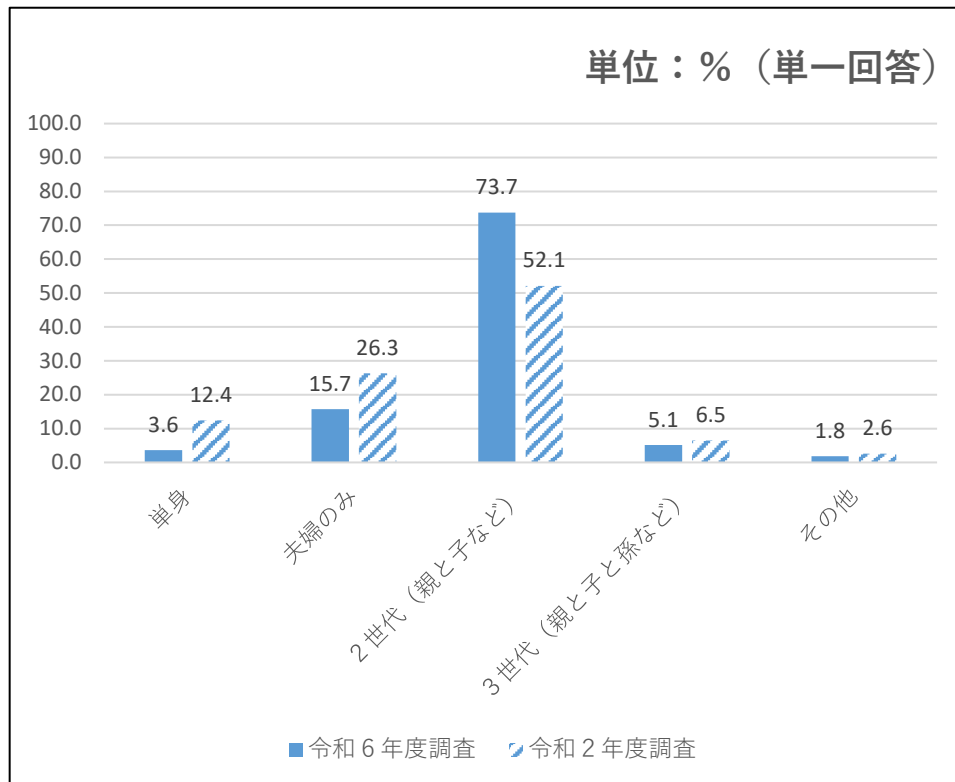
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示している。

問4. 居住年数



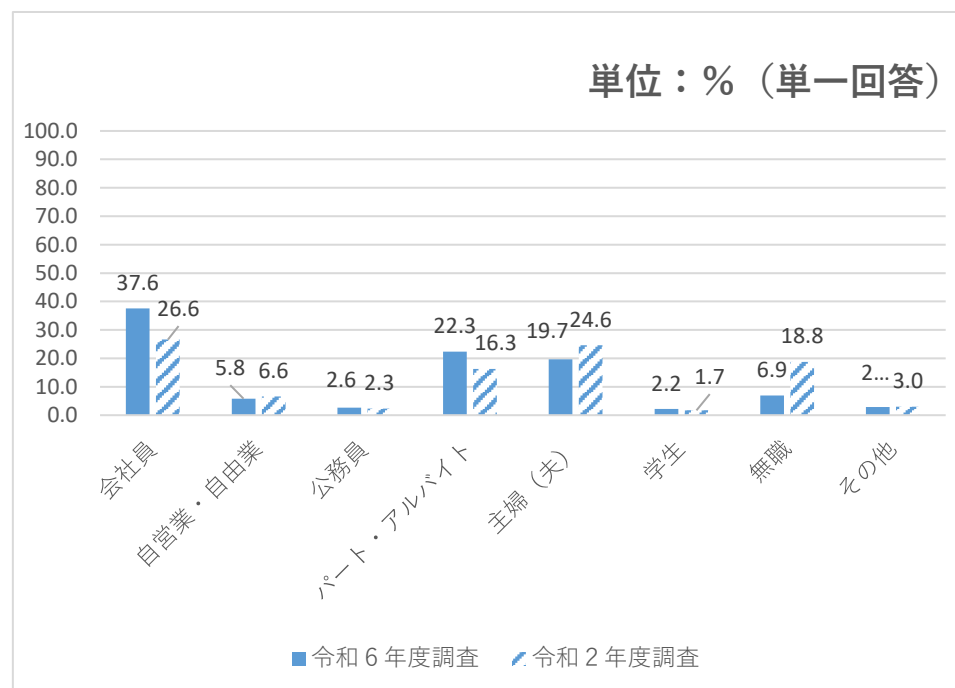
※令和6年度では、30代～40代の回答者が増えたことから、「30年以上」の回答割合が減少している。

問5. 家族構成



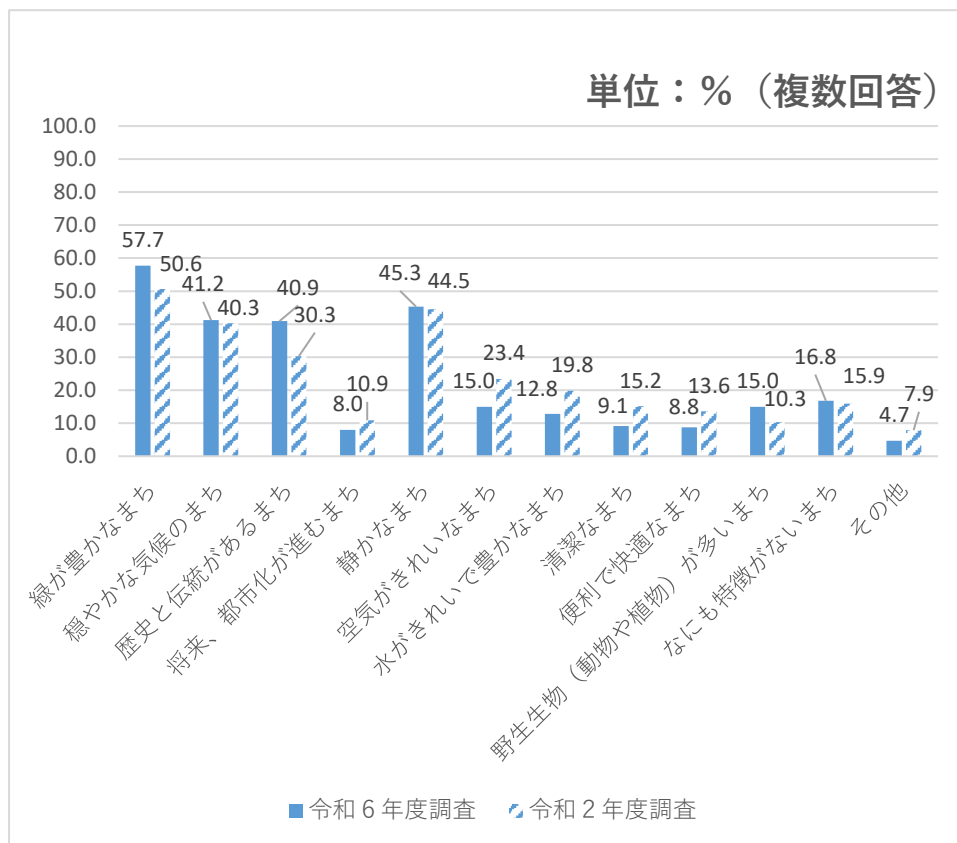
※令和6年度はeマーケティングリサーチ調査のためのため、2世代の回答割合が多い。

問6. 職業



※令和6年度・令和2年度では、回答者の年代の違いにより、「会社員」が増加し、「無職」が減少している。

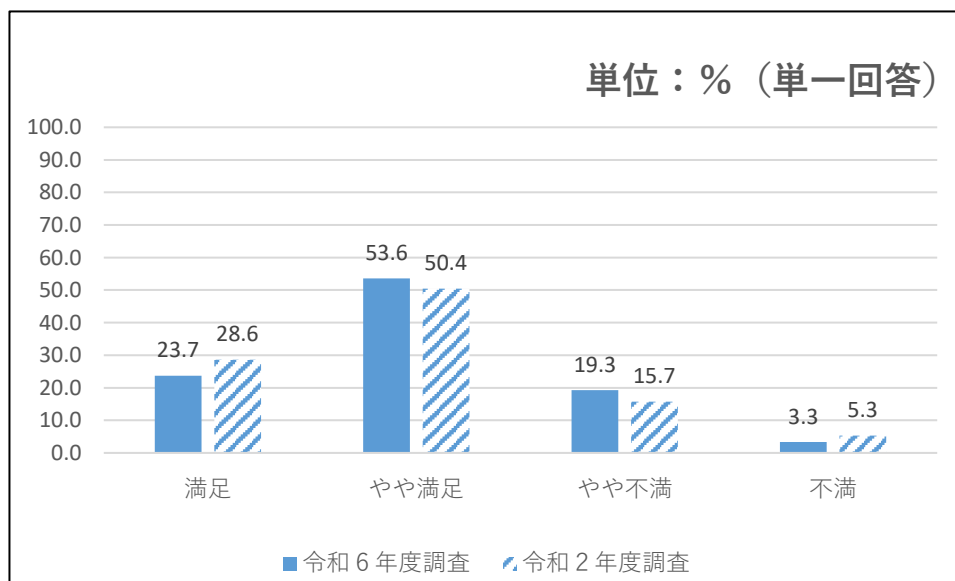
問7. 寒川の環境としてイメージするものはどのようなことですか。



※令和6年度・令和2年度ともに「緑が豊かなまち」と「静かなまち」が多く、緑が豊かで閑静な環境のイメージが持たれている。

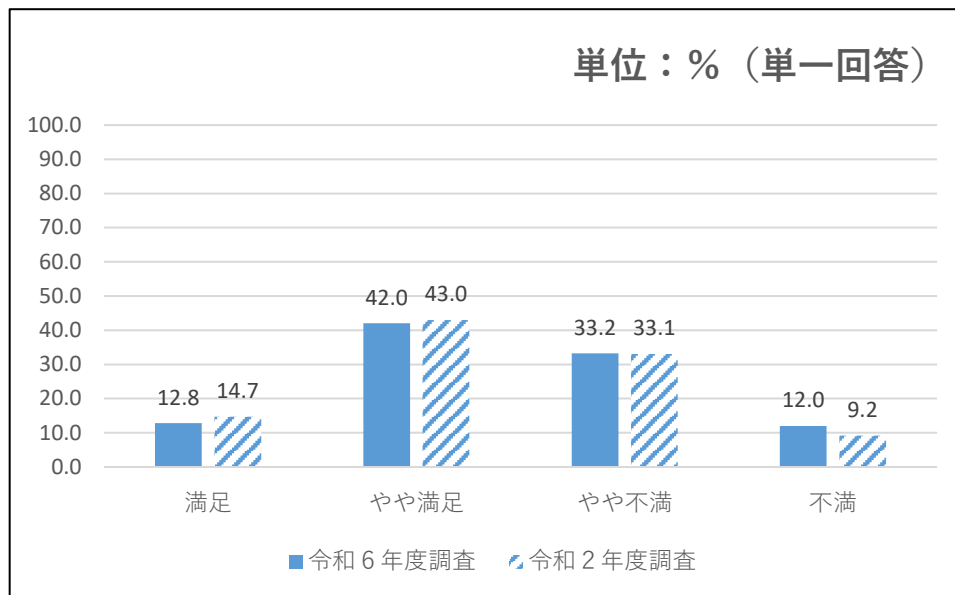
問8. お住まいの周辺（半径500メートル程度の範囲）の環境について、どのくらい満足していますか。

問8－1. 空気のきれいさなどの大気環境



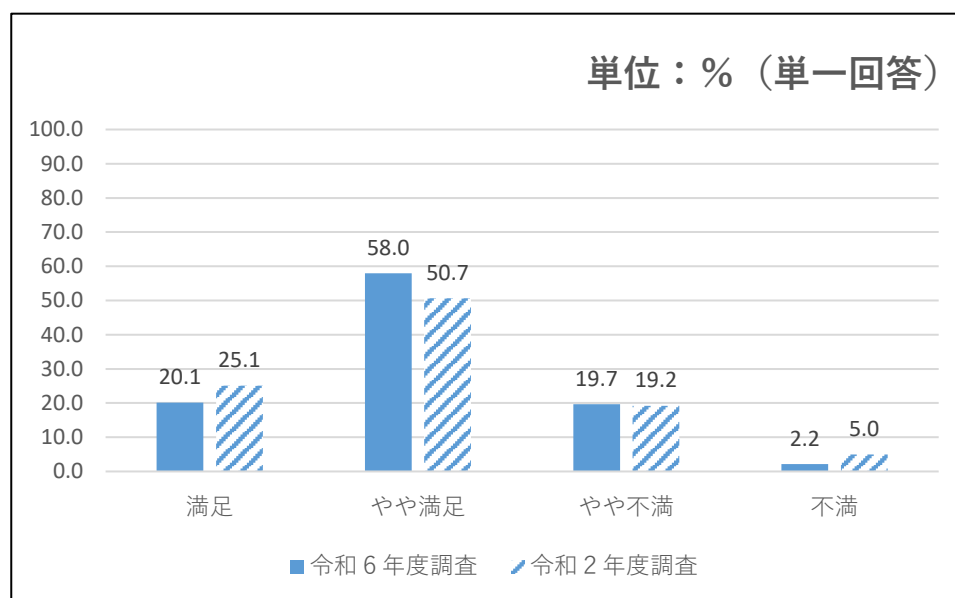
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向で、肯定的な回答が8割を占める。

問 8 - 2. 散乱ごみ・不法投棄などがない美化環境



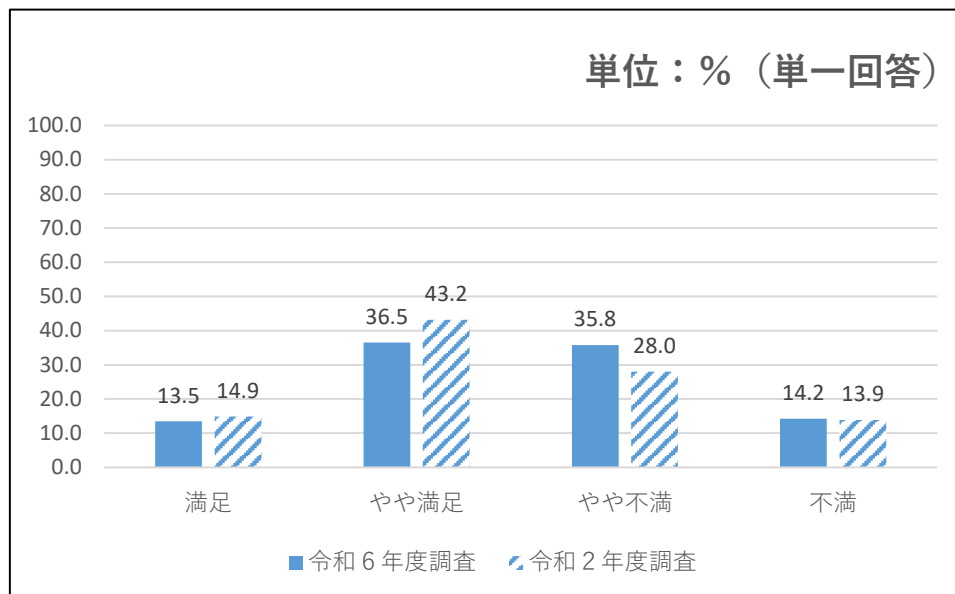
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は 6 割に留まっている。

問 8 - 3. 身近なみどりや河川などの自然環境



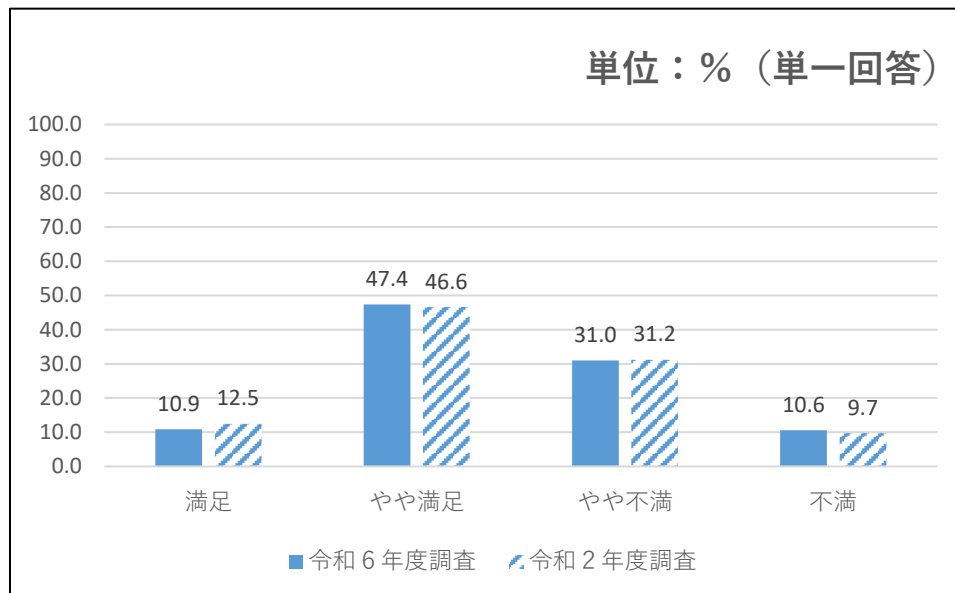
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が 8 割を占めている。

問 8－4．騒音・振動・悪臭などが無い近隣環境



※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は 5 割に留まっている。

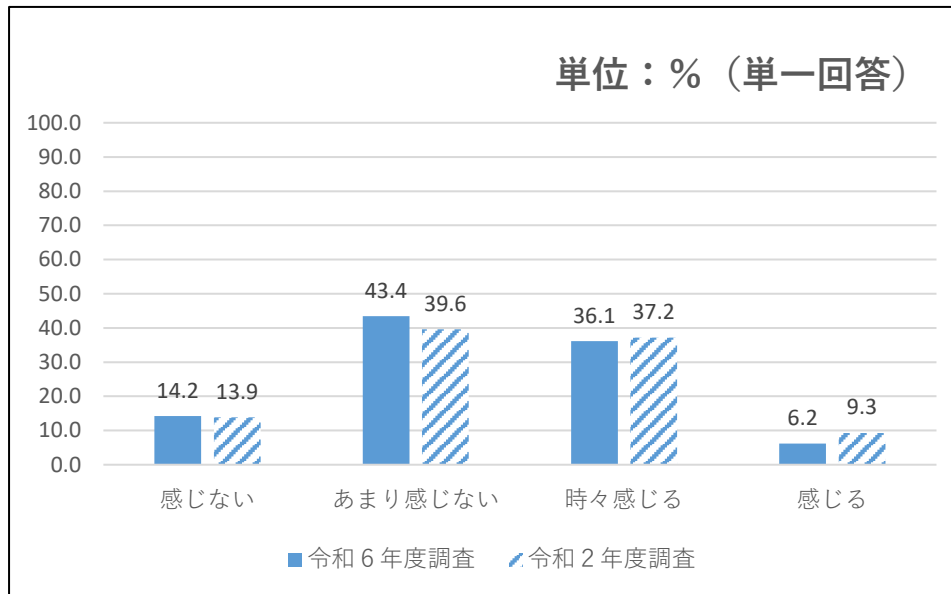
問 8－5．景観・道路などの都市環境



※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答は 6 割に留まっている。

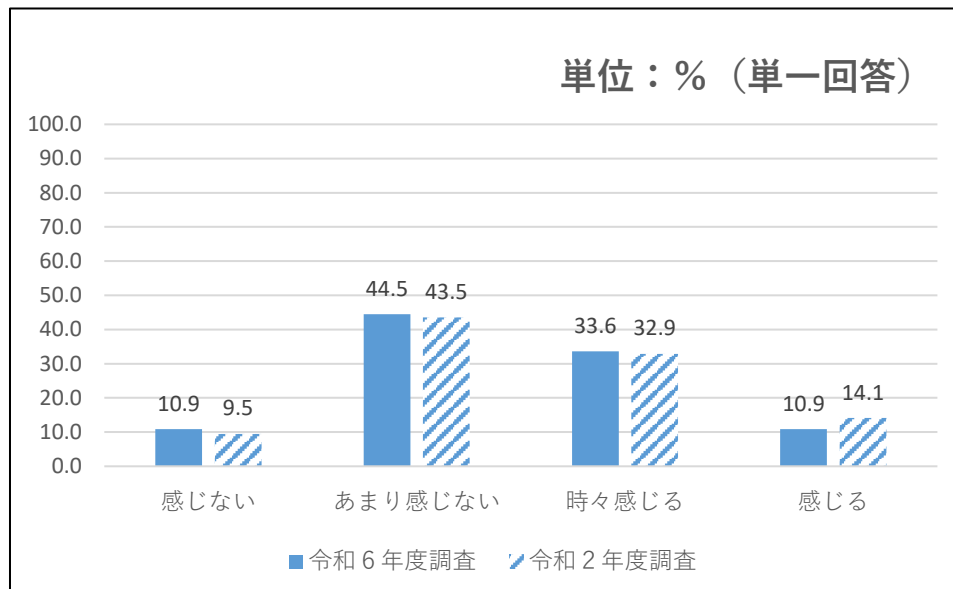
問9. 日頃の生活の中で、公害問題を感じたことがありますか。

問9－1. 川や水路などの汚れや臭い



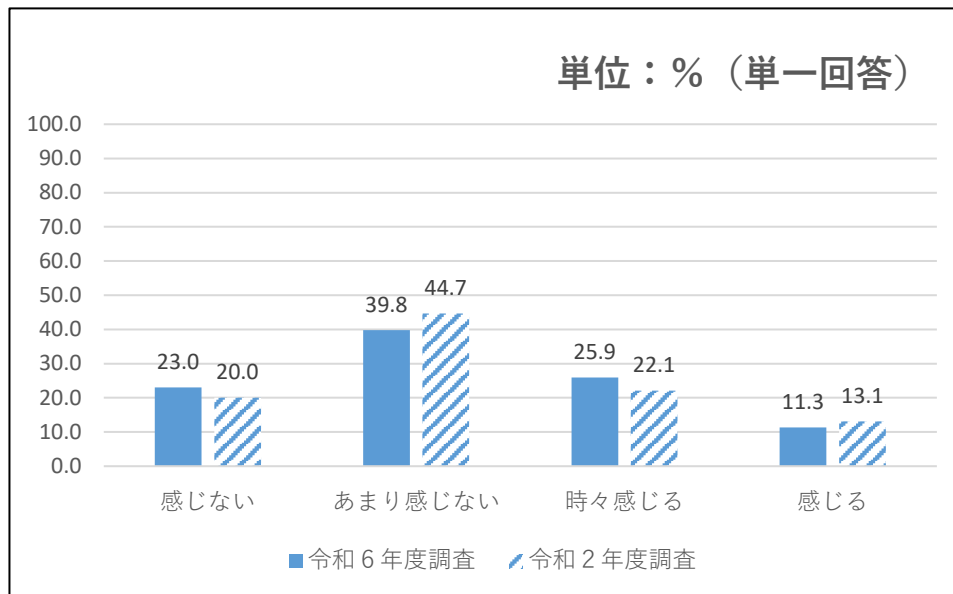
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は6割となっている。

問9－2. 自動車からの排気ガス



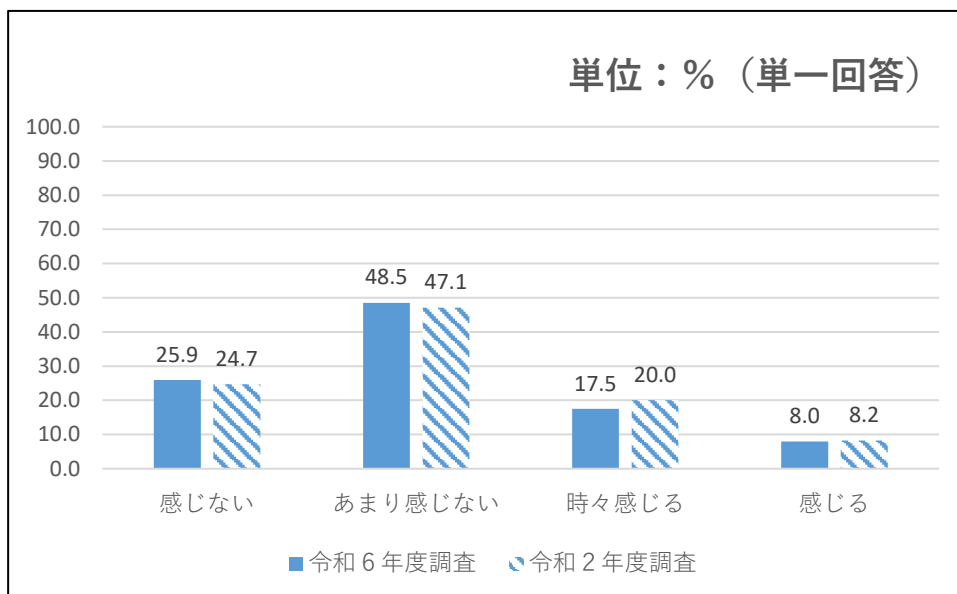
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は6割となっている。

問9－3. 工場や事業所からの煙や臭い



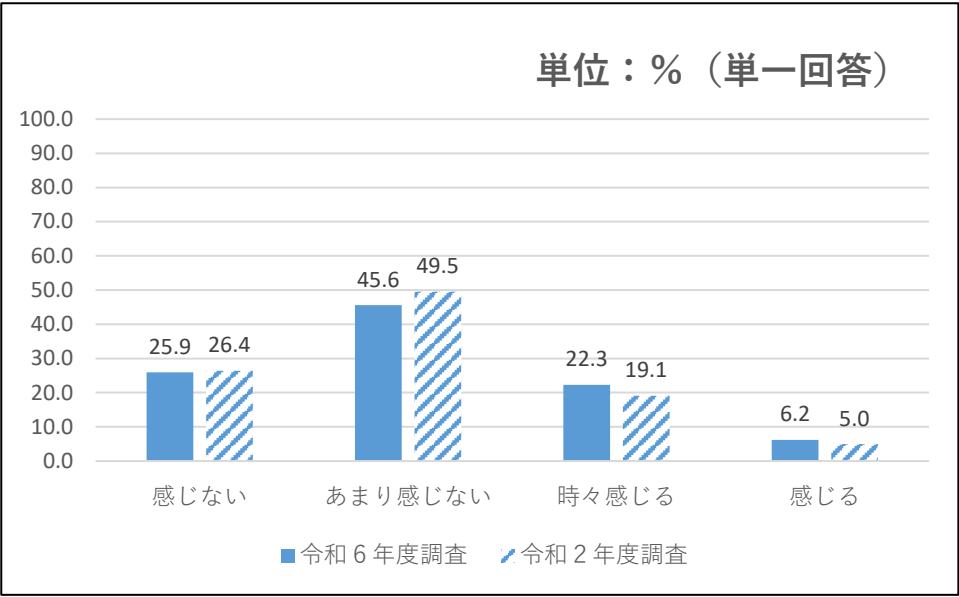
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は6割となっている。

問9－4. 工場や事業所からの騒音や振動



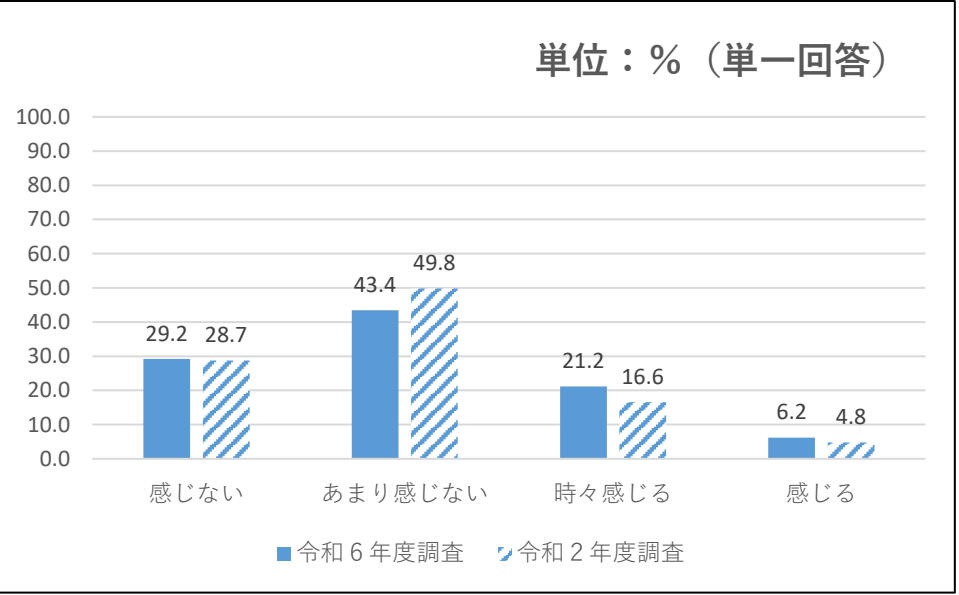
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は7割となっている。

問 9－5．一般家庭からの煙や臭い



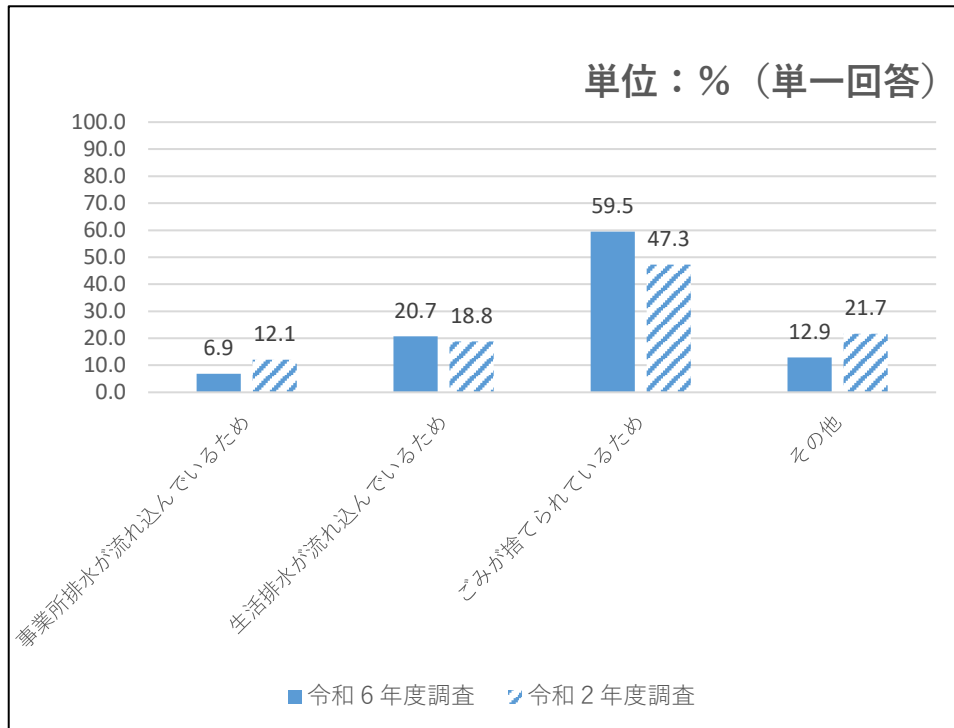
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は 7 割となっている。

問 9－6．一般家庭からの騒音や振動



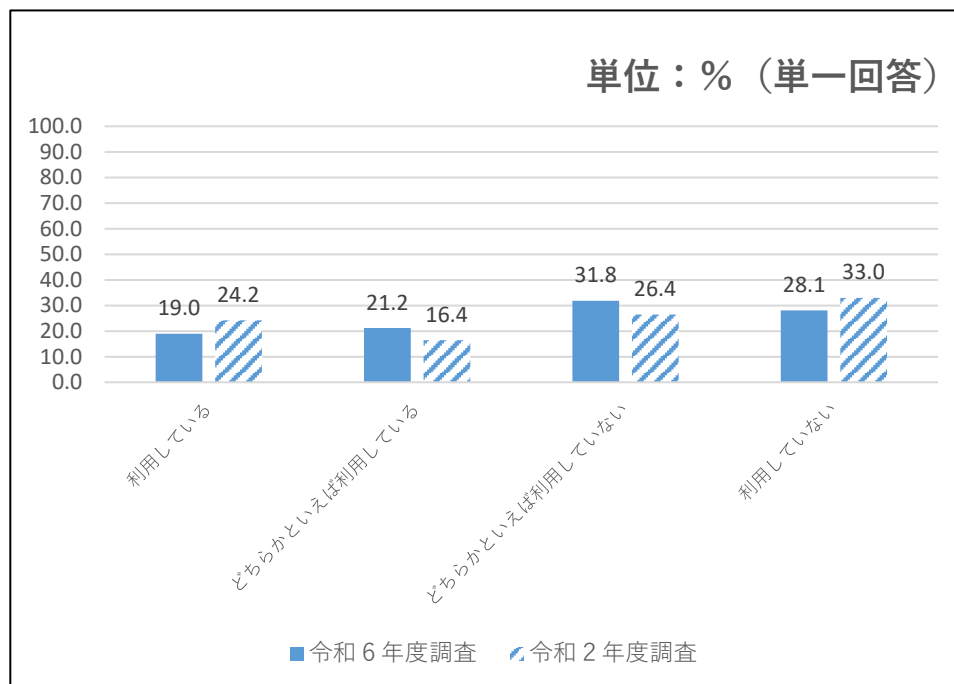
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、「感じない」「あまり感じない」の合計は 7 割となっている。

問 1 0. 川や水路などの汚れや臭いを感じる主な要因は何と思いますか。



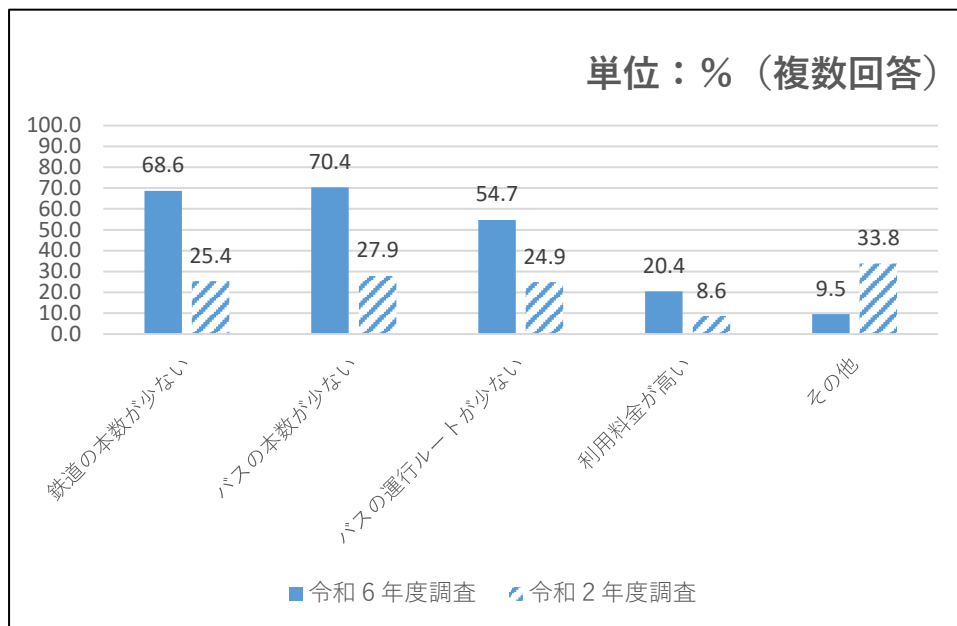
※令和 6 年度・令和 2 年度では、「ごみが捨てられているため」の回答の割合が伸びており、令和 6 年度では 6 割となっている。

問 1 1. 自動車からの排気ガスへの対策について、鉄道やバス（コミュニティバスも含む）などの公共交通の利用促進が有効と考えられていますが、これらを利用していますか。



※令和 6 年度・令和 2 年度では、「利用している」「どちらかといえば利用している」の回答の合計は、4 割に留まっている。

問 1 2. 公共交通の積極的な利用をはばむ要因があるとすれば何だと思われますか。

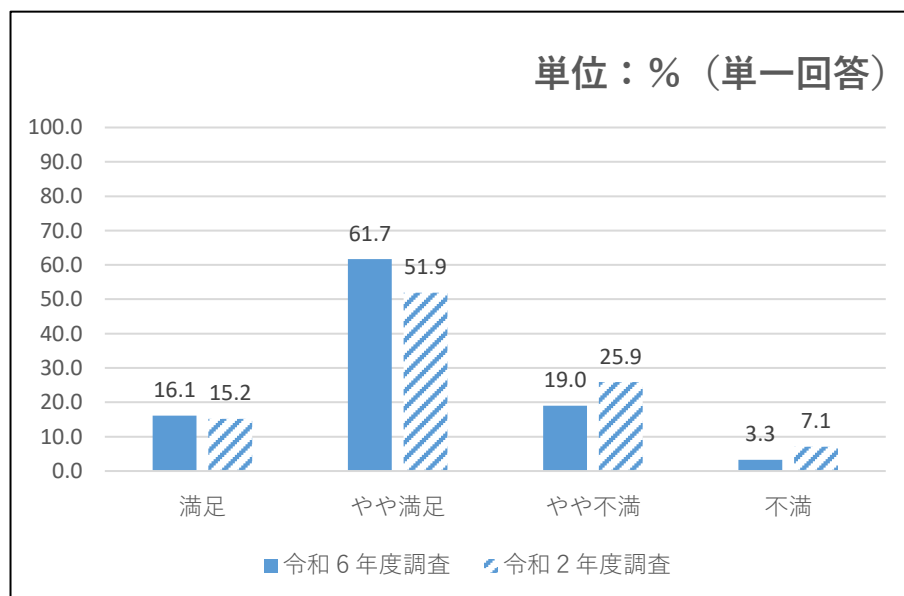


※令和 6 年度では全員に回答を求めたが、令和 2 年度では問 5 で「どちらかといえば利用していない」、「利用していない」と回答した方のみ回答を求めた。

※令和 6 年度・令和 2 年度ともに、「その他」で「自動車を利用している」、「車の方が便利」との回答が見られる。

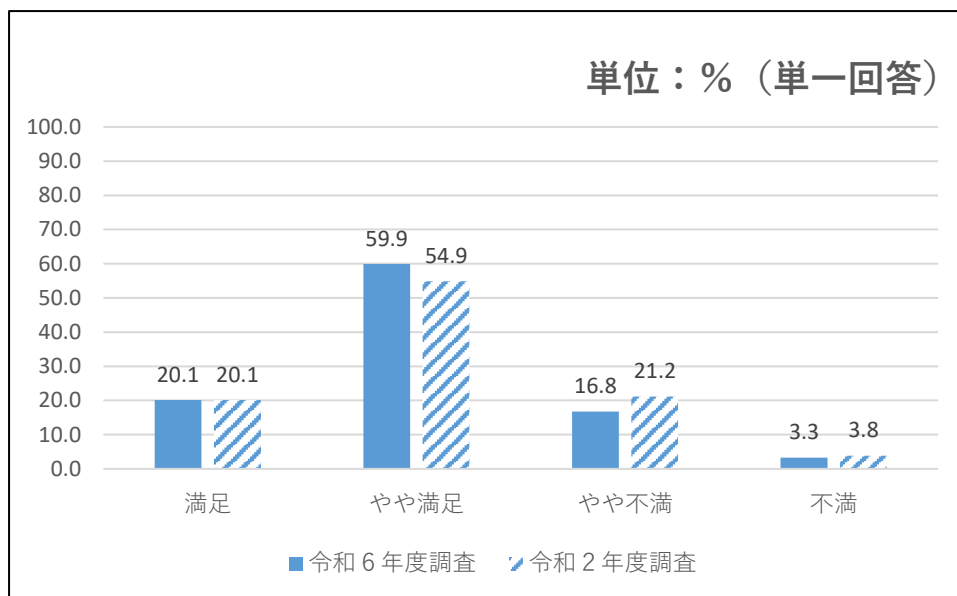
問 1 3. お住いの周辺（半径 5 0 0 メートル程度の範囲）の自然環境についてどう思いますか。

問 1 3 - 1. 川や水路など水辺について



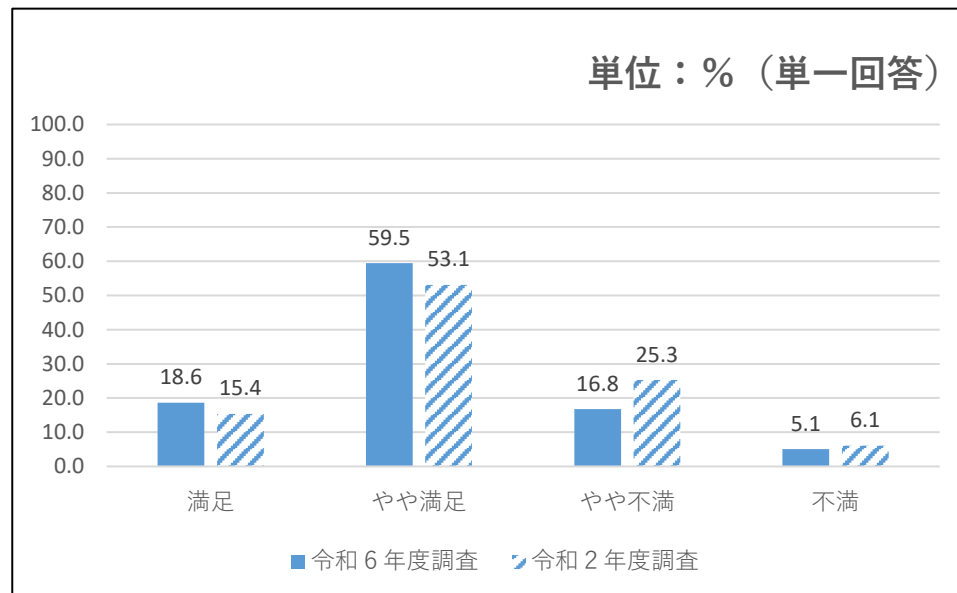
※令和 6 年度では、肯定的な回答が 7 割から 8 割に増加している。

問13-2. 樹林地など緑について



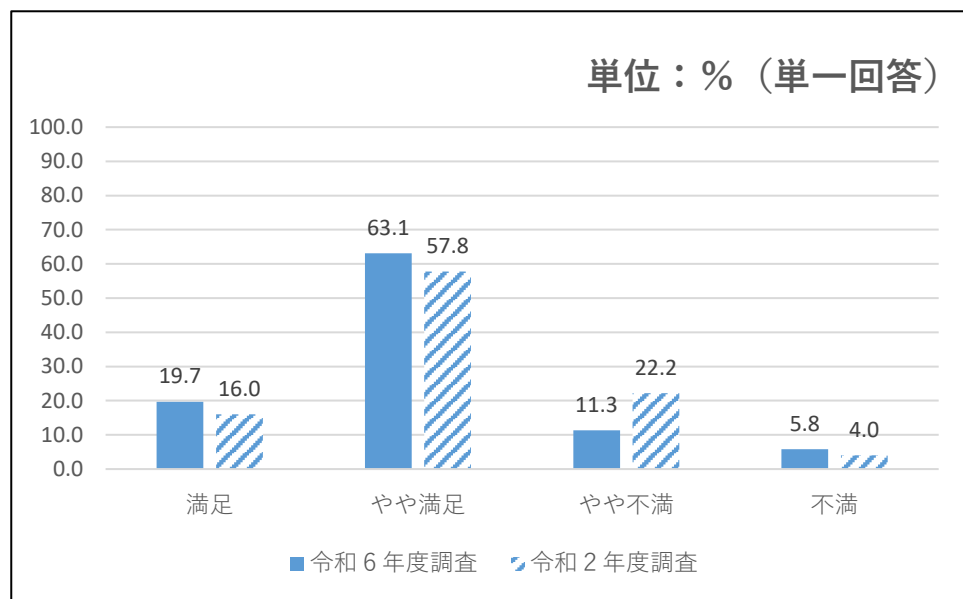
※令和6年度・令和2年度では、概ね同様の傾向を示しており、肯定的な回答が8割を占めている。

問13-3. 野生動植物について



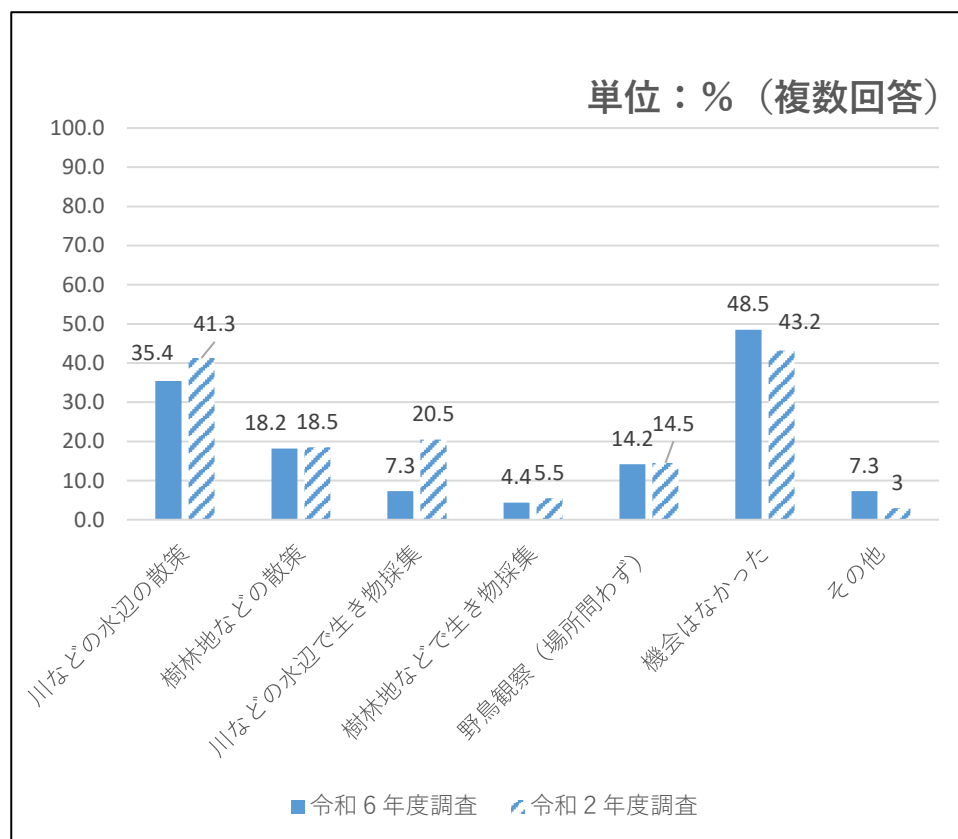
※令和6年度では、肯定的な回答が7割から8割に増加している。

問 1 3－4．農地（畑、水田等）の保全について



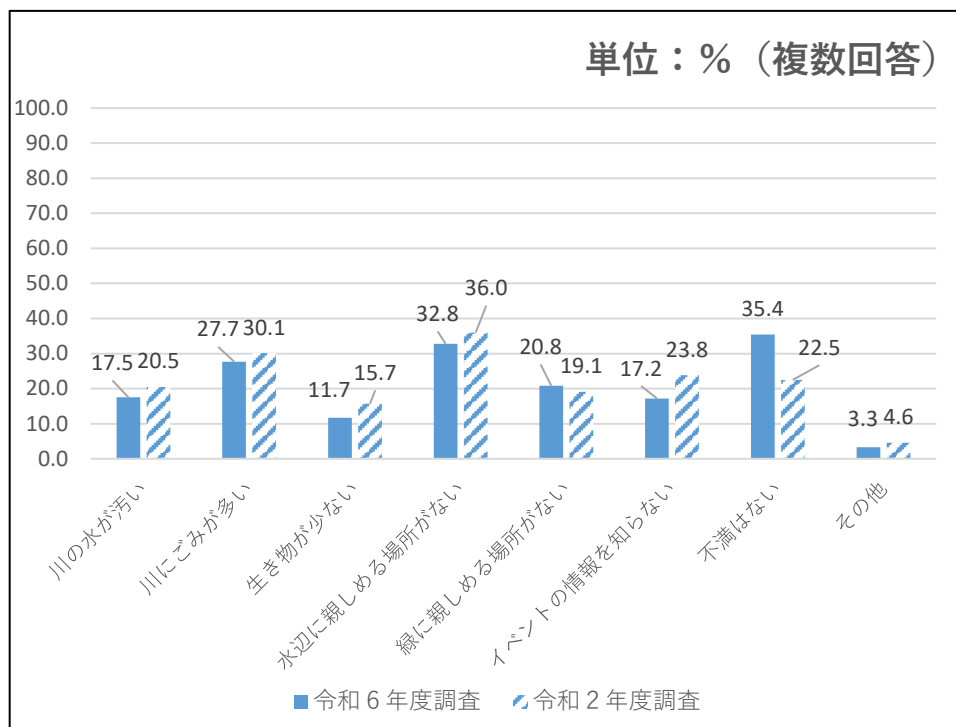
※令和 6 年度では、肯定的な回答が 7 割から 8 割に増加している。

問 1 4．この 1 年くらいの間に町内の自然環境とふれあう機会がありましたか。



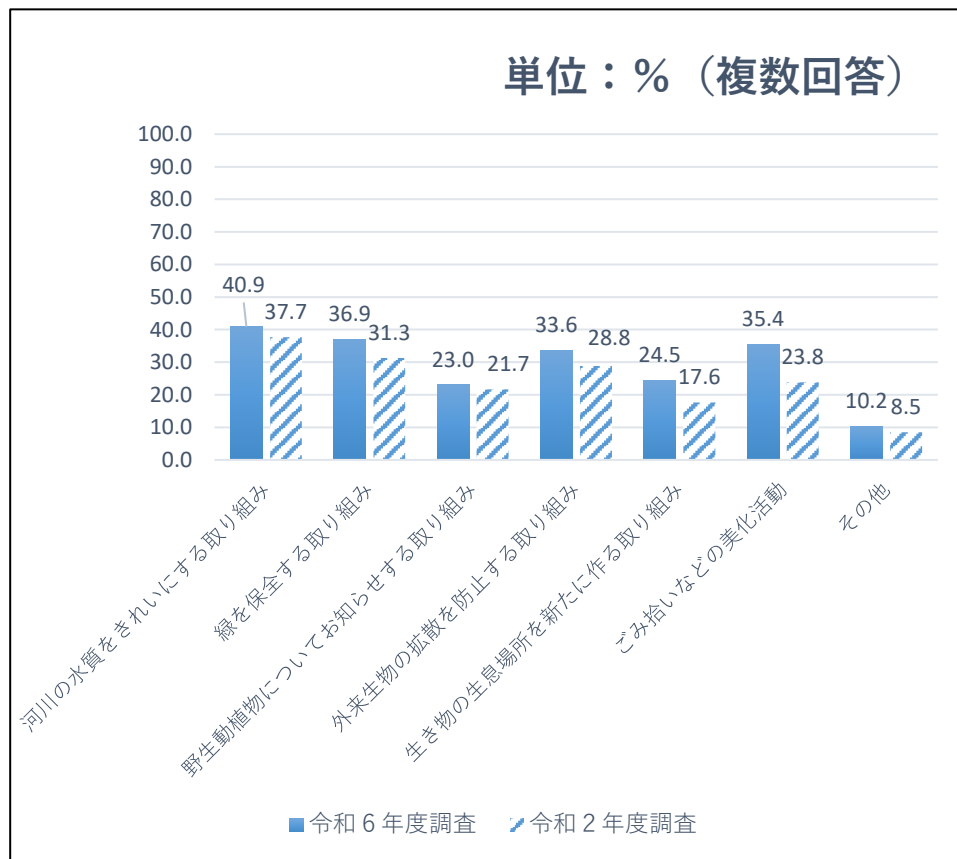
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、「機会はなかった」がもっとも大きな割合を占めている。

問15. 自然環境とふれあうために不満な点がありますか。



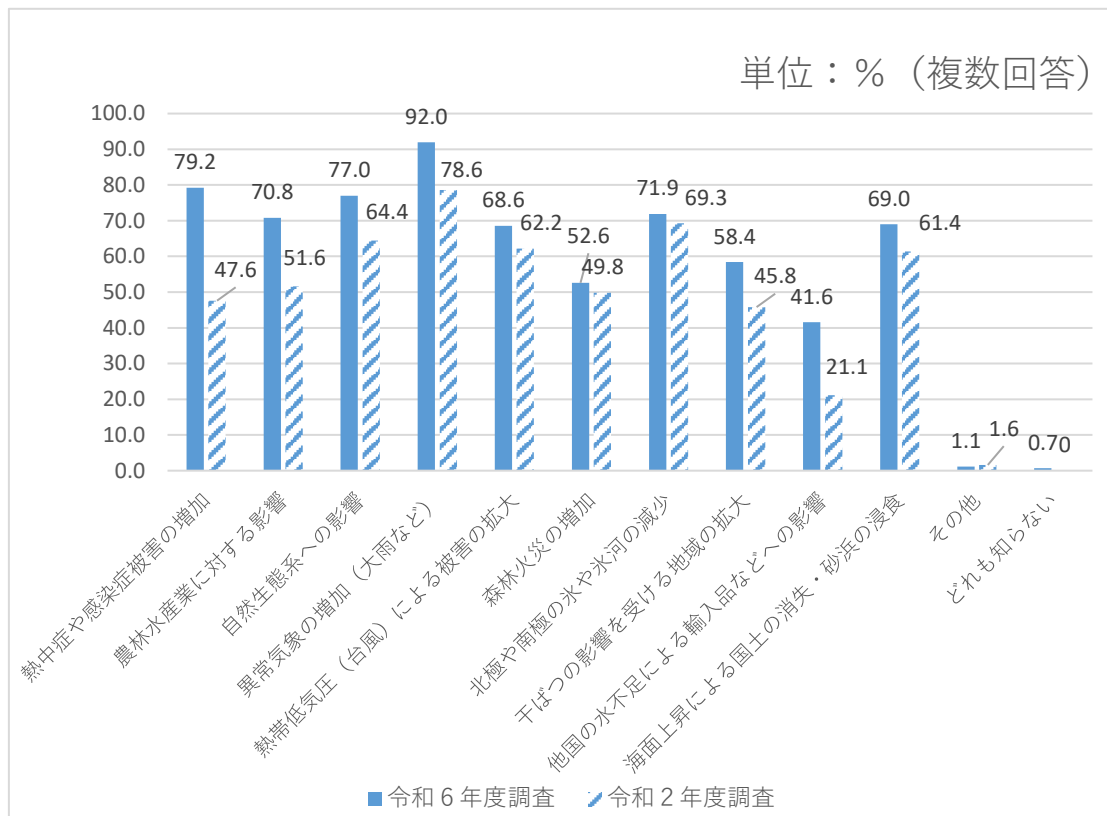
※令和6年度では、不満に思う回答の割合が若干ではあるが、全体的に改善の傾向を示している。また、「不満はない」の割合も伸びている。

問16. 町の自然環境を保全するにあたって不十分なことは何ですか。



※令和6年度では、全体的に不十分と思う回答の割合が増加している。

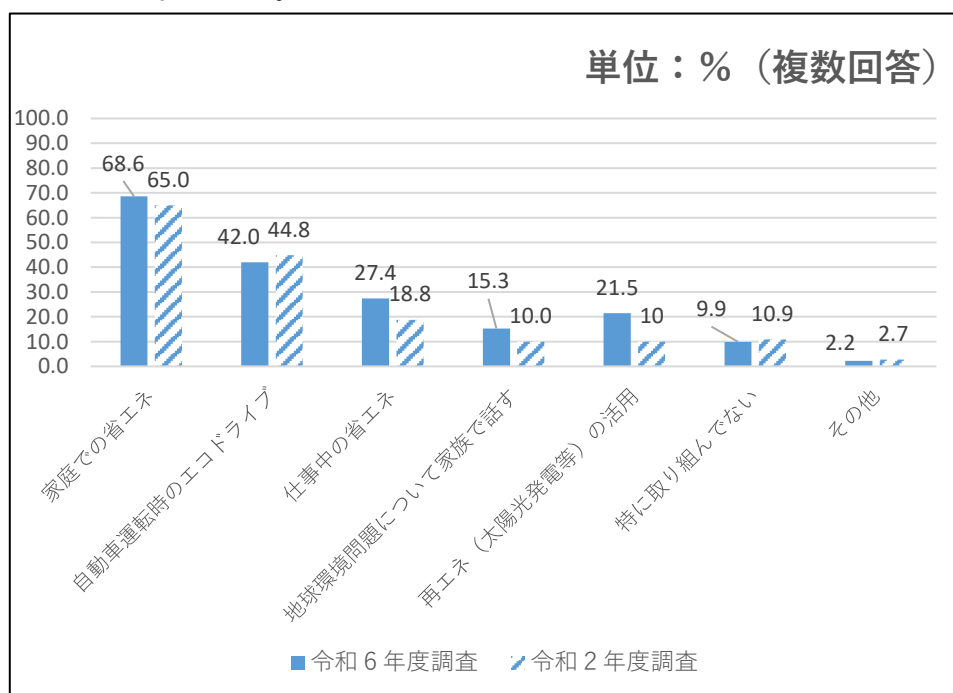
問17. 地球温暖化の影響について、どのようなものがあるか知っていますか。



※令和6年度では、全体的に各項目の認知度の割合が増加している。

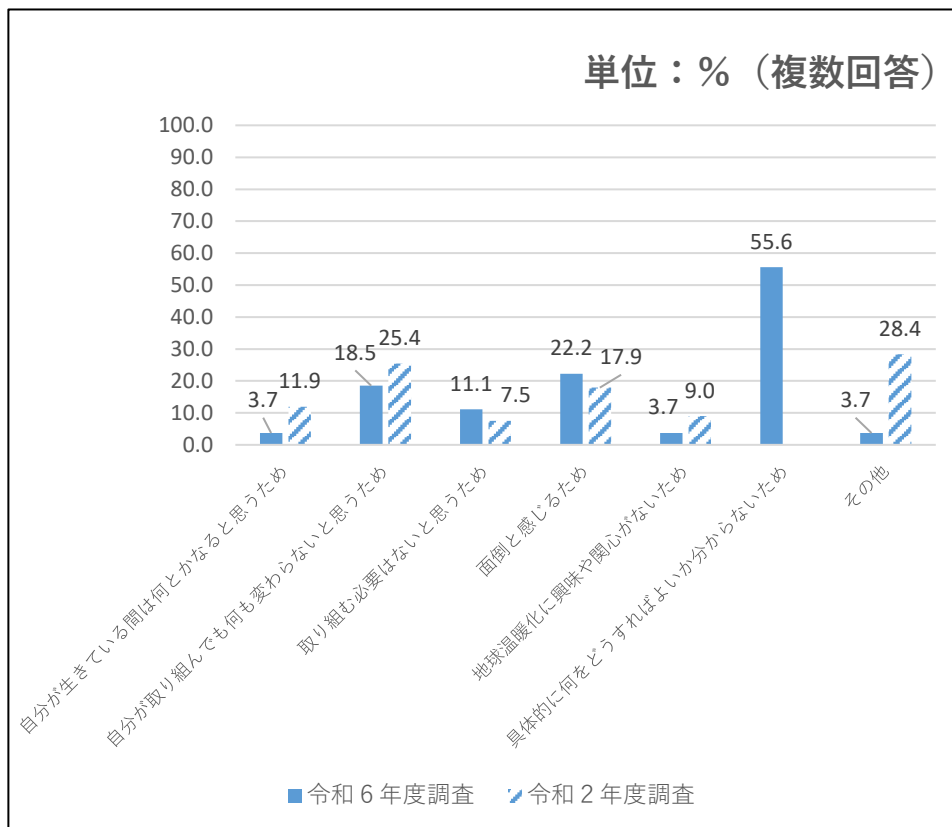
※「どれも知らない」は今回に新たに追加。

問18. 地球温暖化防止にあたる次の取り組みのうち、日ごろの生活で取り組んでいるものは何ですか。



※令和6年度では、若干ではあるが全体的に各項目の取り組んでいると回答した割合が増加している。

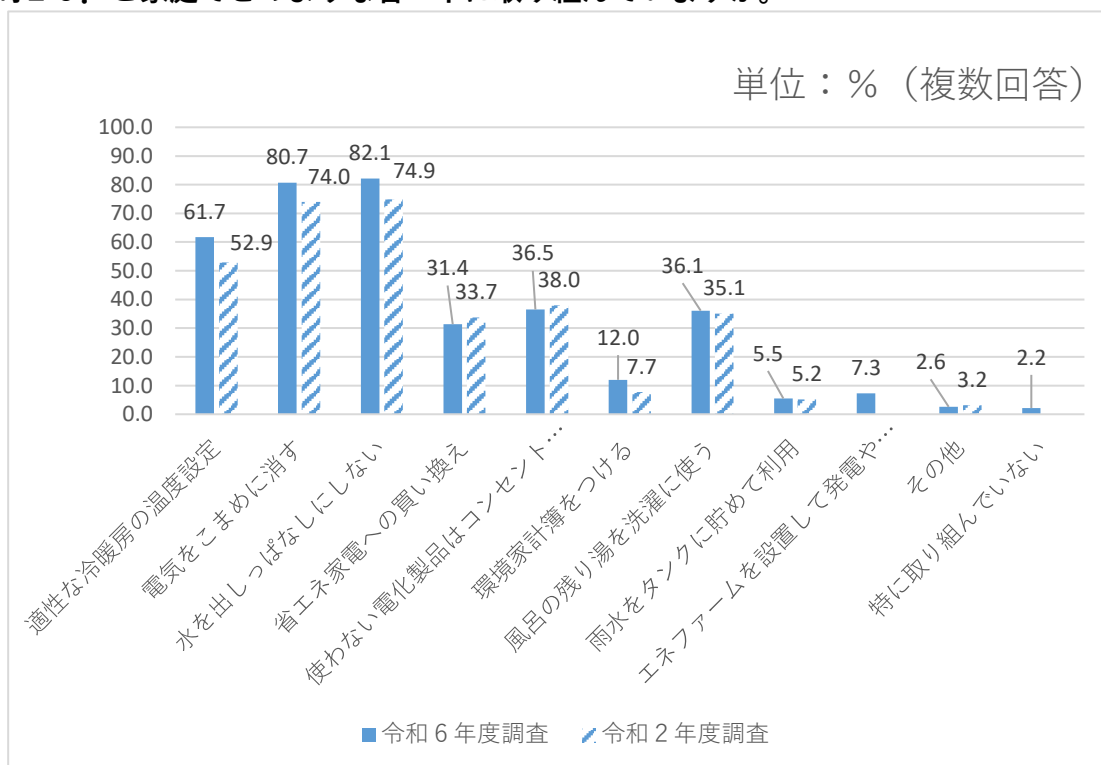
問 19. 特に取り組んでいない主な理由は何ですか。



※「具体的に何をどうすればよいか分からないため」の回答が大きな割合を占める。

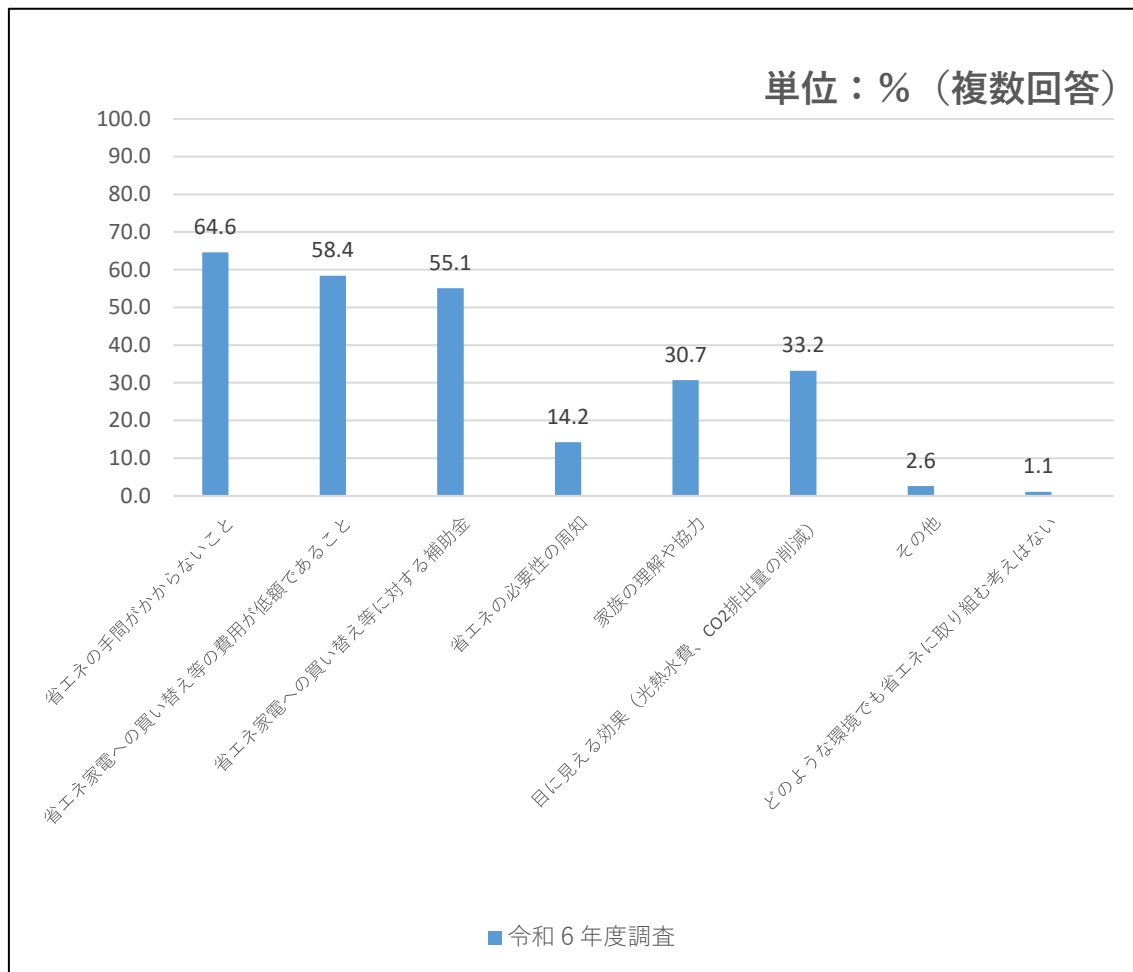
※「具体的に何をどうすればよいか分からないため」は今回に新たに追加。

問 20. ご家庭でどのような省エネに取り組んでいますか。



※令和 6 年度では、全体的に各項目の取り組みを行う割合が増加している。

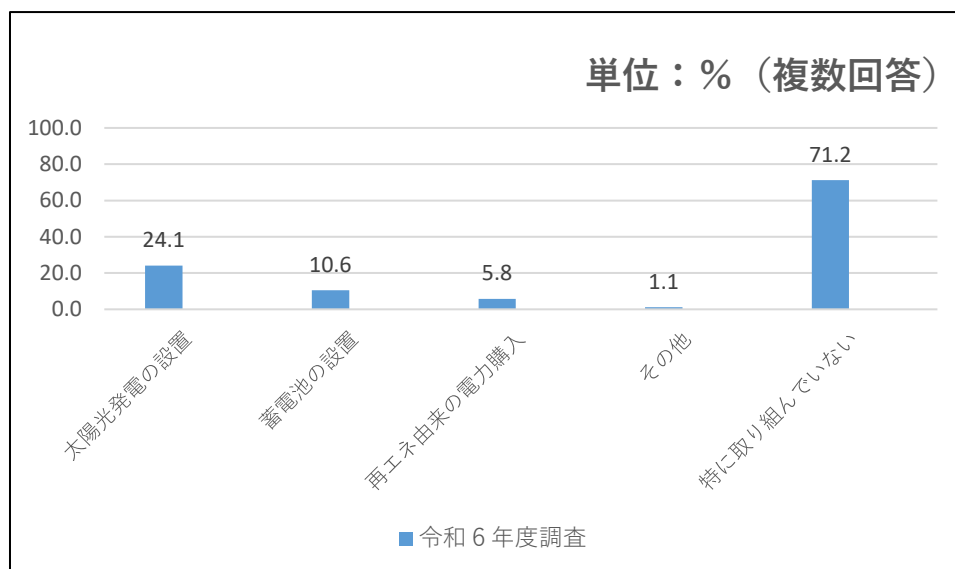
問 2 1. どのような環境であれば、ご家庭で省エネに関する取り組みをしますか。



※令和 6 年度では、省エネの手間や費用の軽減、補助の回答割合が多く挙げられている。

※令和 6 年度新規の設問のため、令和 2 年度の回答データなし。

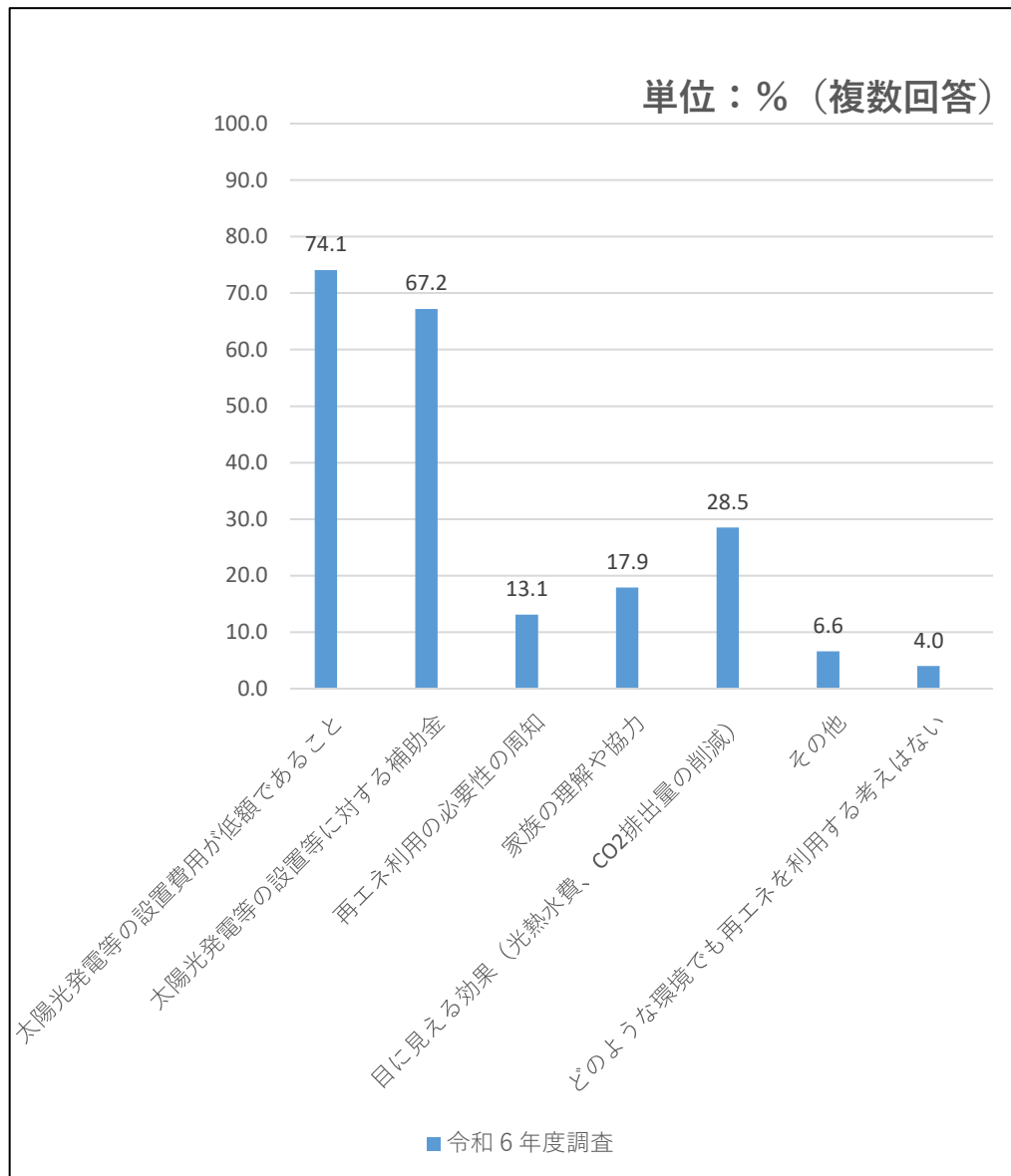
問 2 2. ご家庭で、どのような再生可能エネルギーの利用に取り組んでいますか。



※令和 6 年度では、再エネに関する取り組みは、現状ではほとんど進んでいない。

※令和 6 年度新規の設問のため、令和 2 年度の回答データなし。

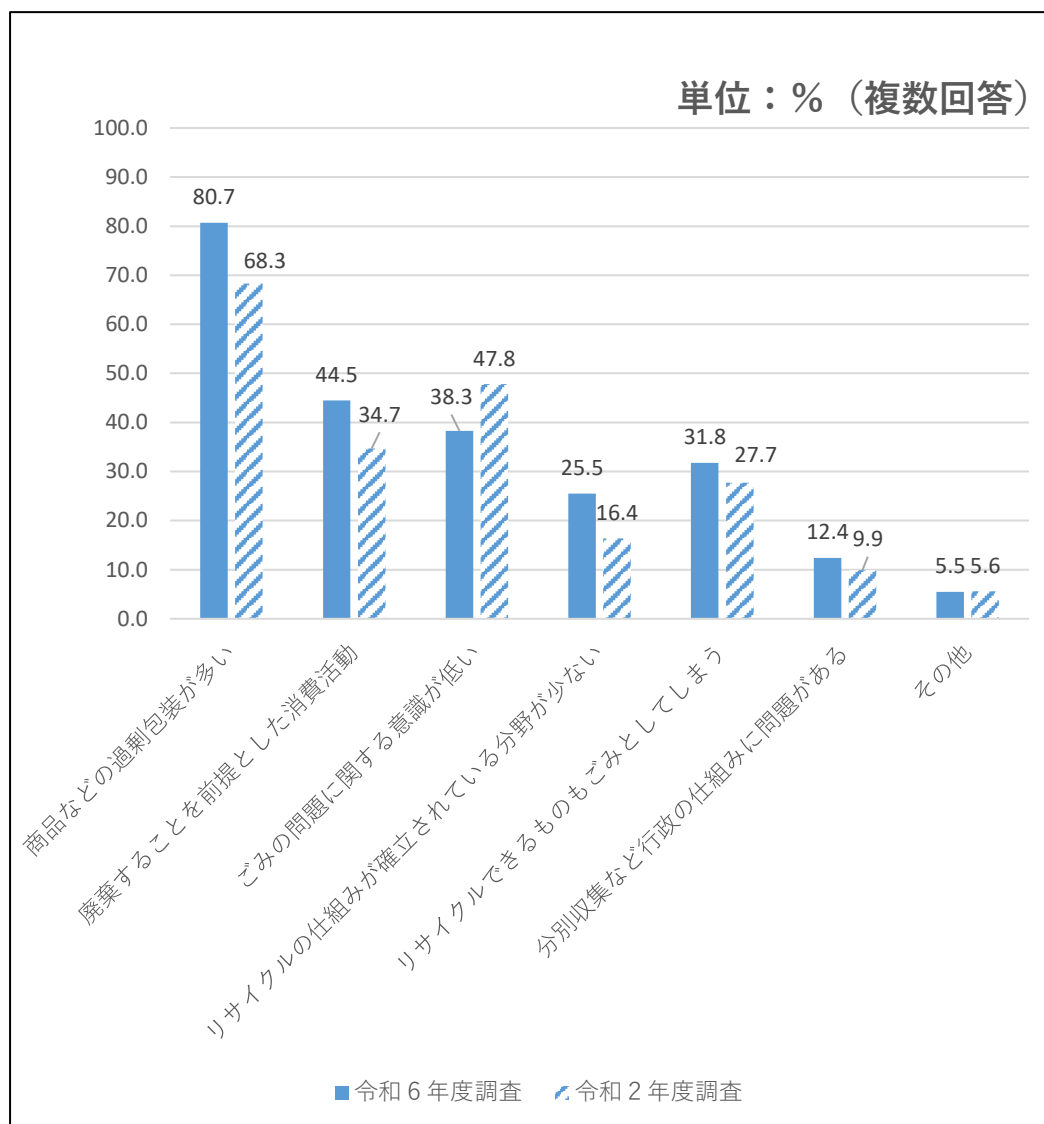
問 2 3. どのような環境であれば、ご家庭で再生可能エネルギーを利用しますか。



※令和 6 年度では、設置費用の低減や補助金が必要と回答する割合が大きい。

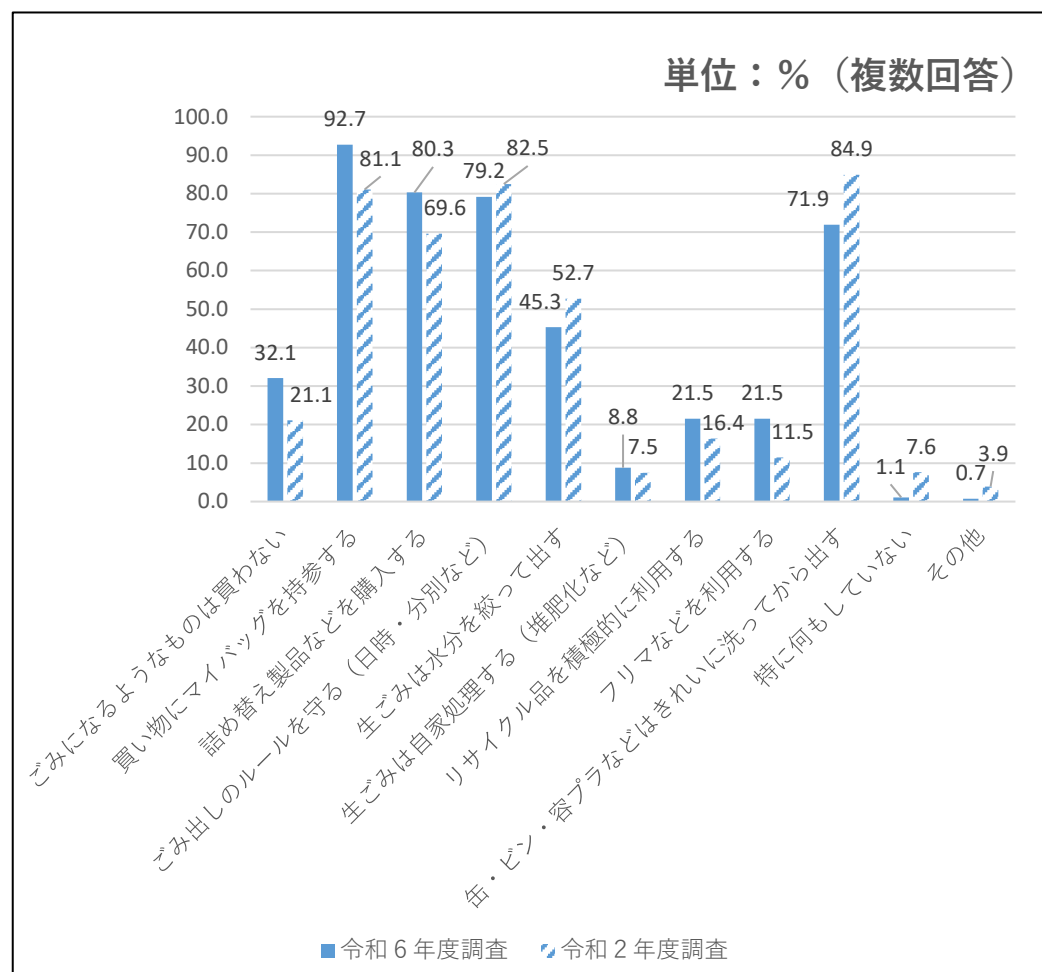
※令和 6 年度新規の設問のため、令和 2 年度の回答データなし。

問 2 4. ごみの量が増えてしまう主な原因は何と考えていますか。



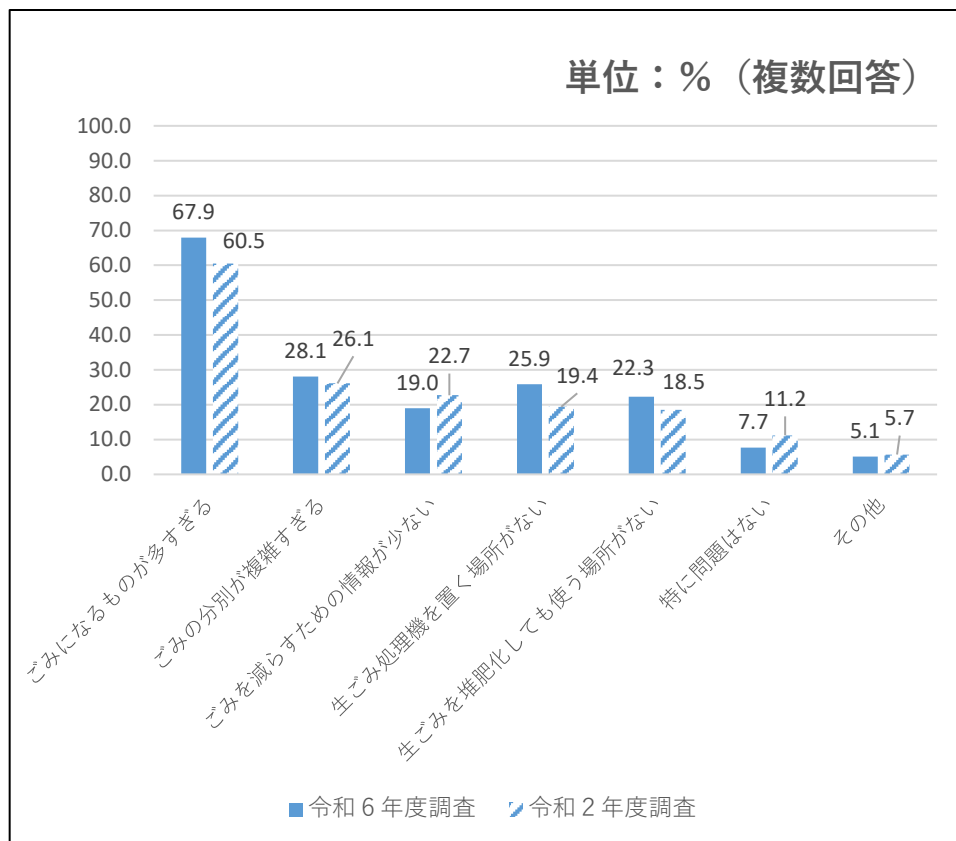
※令和 6 年度では、「ごみの問題に関する意識が低い」の回答を除いて、
全体的に回答の割合が上昇している。

問25. 日ごろ、ごみの減量やリサイクルについてどのような取り組みをしていますか。



※令和6年度では、「マイバッグの持参」や「詰め替え製品の購入」の回答割合が増加した一方、「缶・ビンなどをきれいに洗ってから出す」などは減少している。

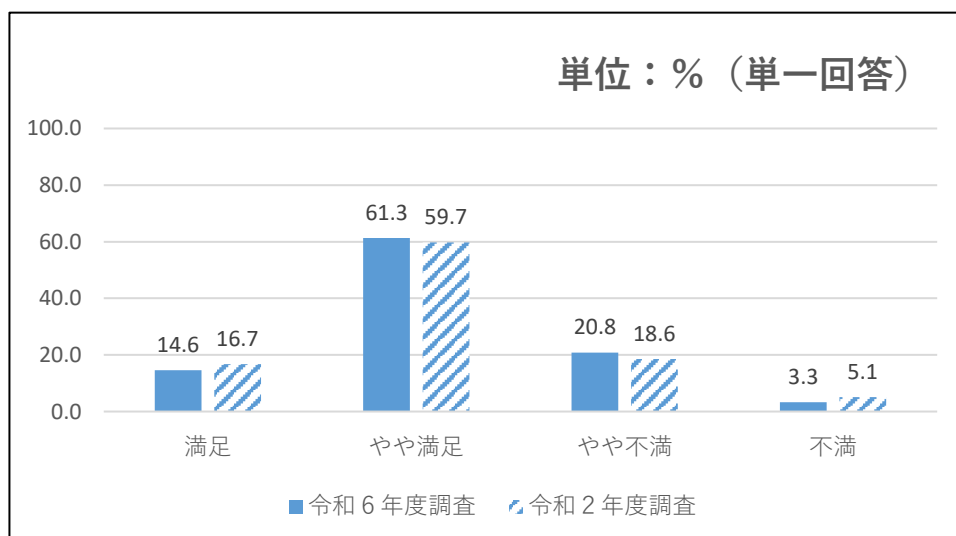
問 2 6． 日ごろの生活の中で、ごみを減らすのに問題と感じていることはありますか。



※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、全体的に各項目の回答の割合が増加している。

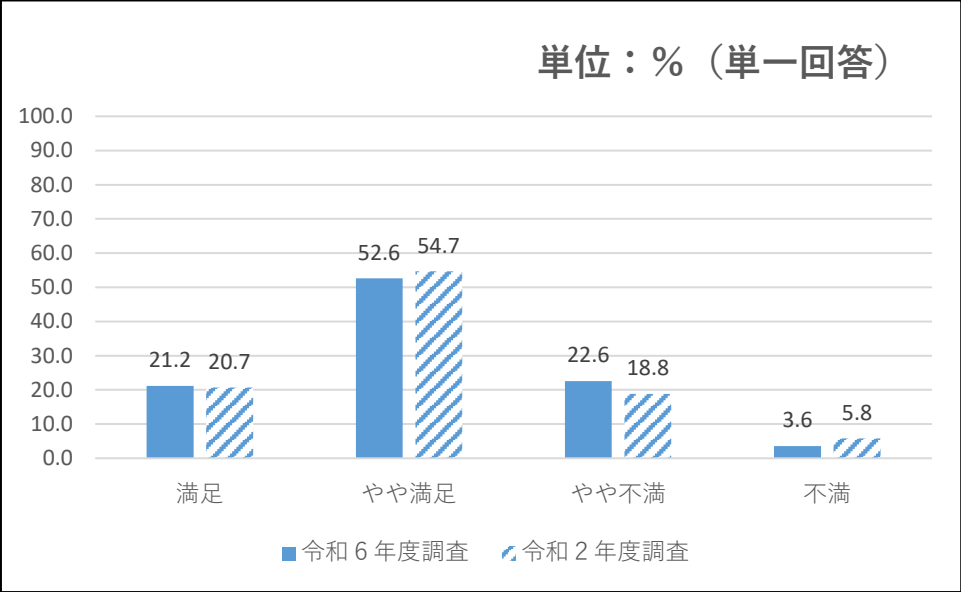
問 2 7． お住まいの周辺（半径500メートル程度の範囲）の都市環境についてどう感じますか。

問 2 7－1． 景観について



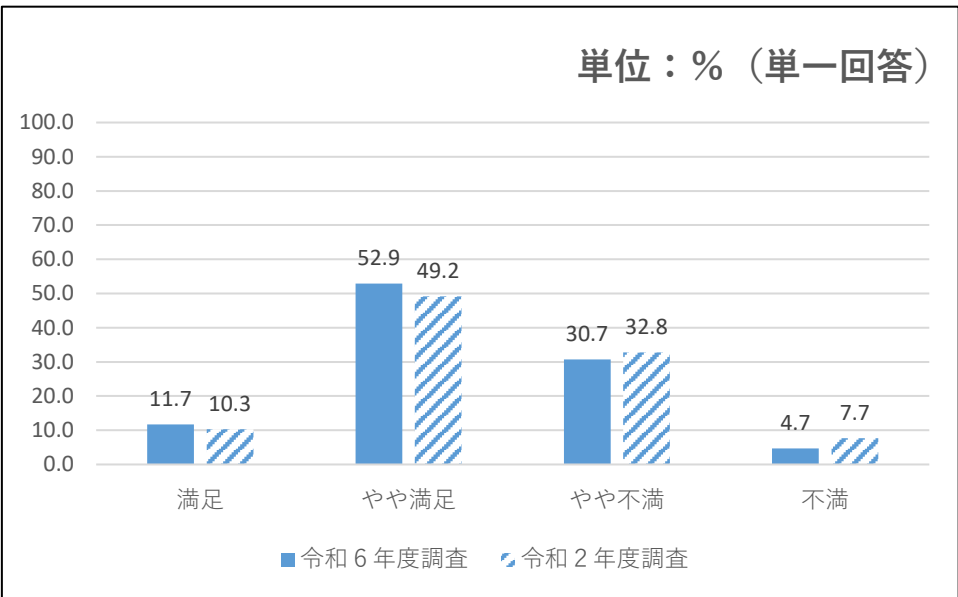
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。肯定的な回答は 7 割となっている。

問 2 7－2．身近な緑（個人宅の緑化や公園など）について



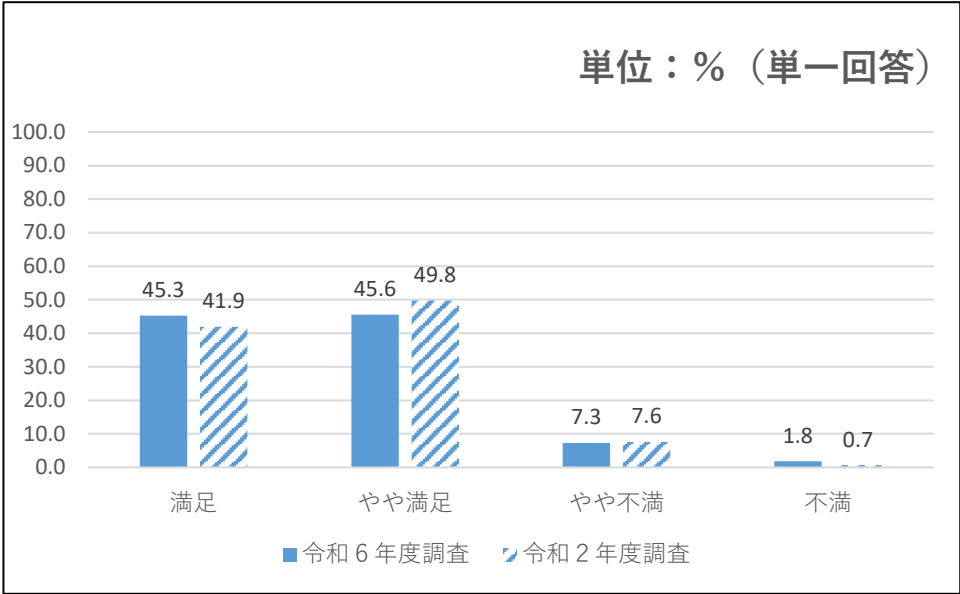
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。肯定的な回答は 7 割となっている。

問 2 7－3．水辺の整備について



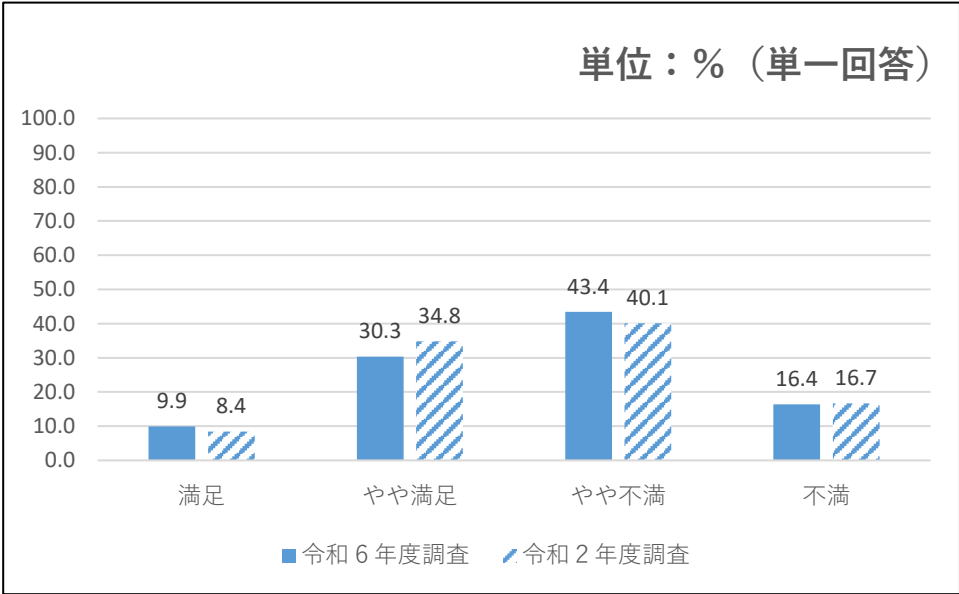
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。肯定的な回答は 6 割となっている。

問 2 7－4．神社やお寺など文化的環境について



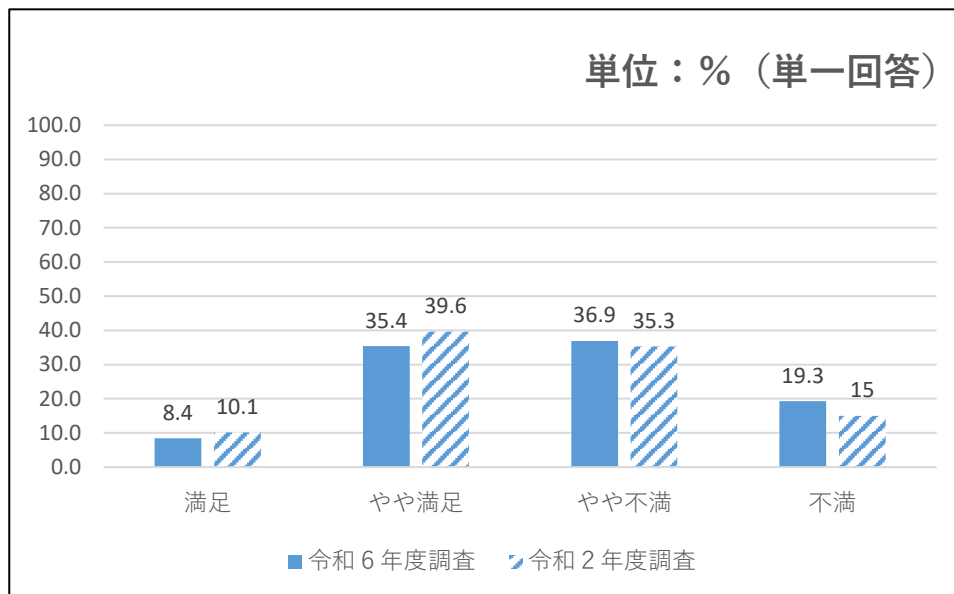
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。いずれも肯定的な回答は 9 割と高い満足度となっている。

問 2 7－5．散乱ごみや不法投棄について



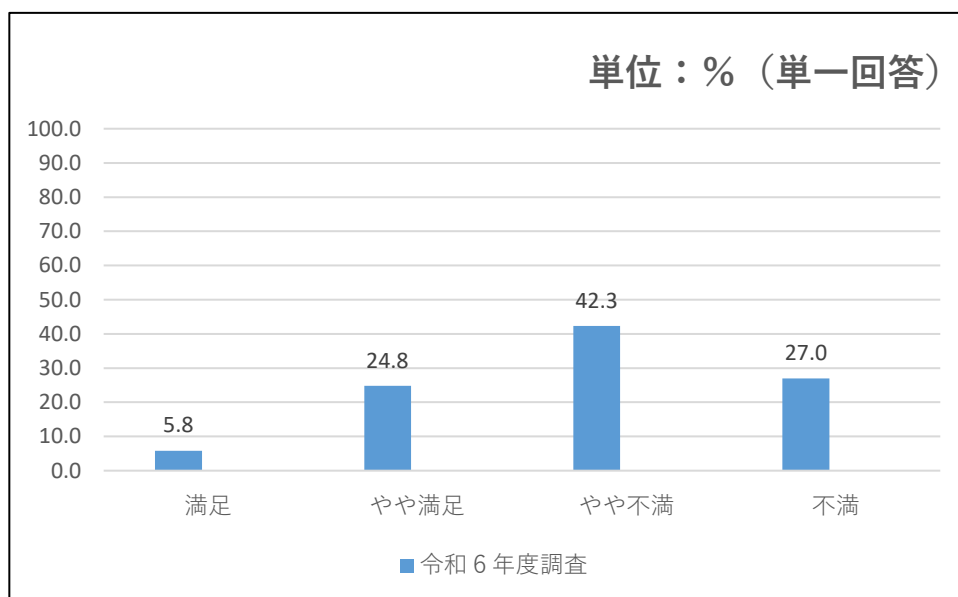
※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。いずれも肯定的な回答は 4 割に留まっている。

問 2 7－6. 道路整備について



※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、大きな増減は見られない。若干ではあるが満足度が低下している。

問 2 7－7. 公共交通について



※令和 6 年度では、肯定的な回答が 3 割となっている。

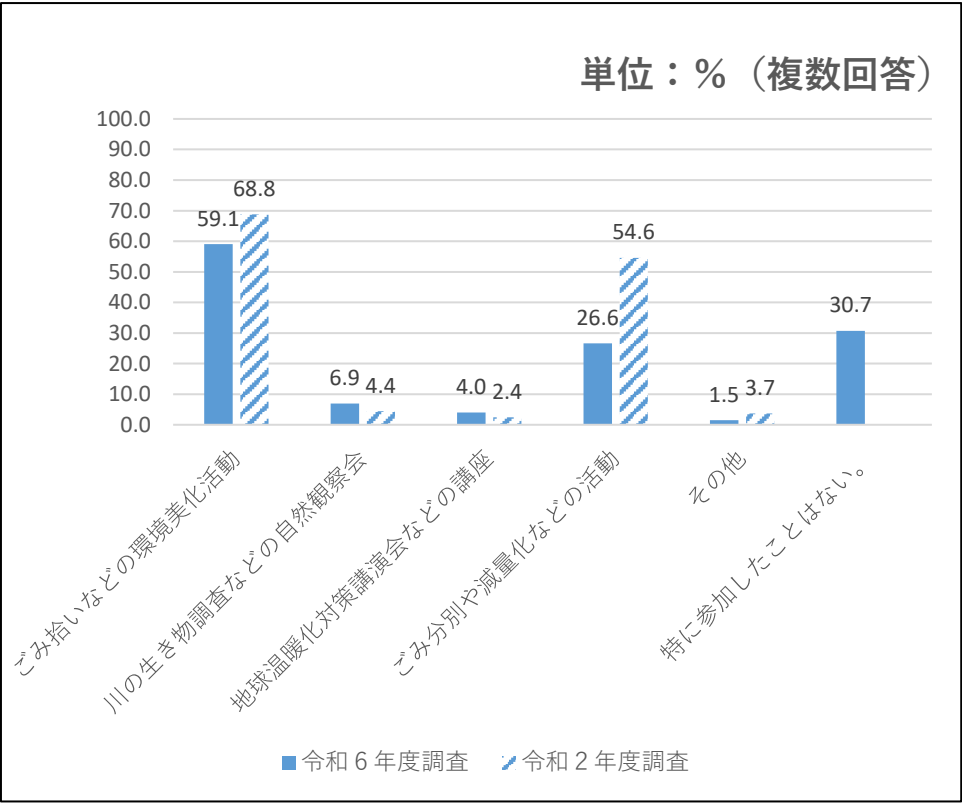
※令和 6 年度新規の設問のため、令和 2 年度の回答データなし。

問 2 7－8. その他

一部抜粋

令和 6 年度調査	令和 2 年度調査
・ 個人宅の緑化は良いが、管理出来ずミラーの邪魔になり交通事故の元になる場所や、敷地の外に伸びきって通行の邪魔になっている所が多々あるのは考えものです。 ・ 犬の糞や、空き缶、たばこのポイ捨て、まだまだ多く見かけます。公園も不衛生なときがあります。 ・ ゴミ捨て場が多いのに、カラスや猫に荒らされない様な対策を講じている所が少なく、荒らされたゴミが風で敷地内に入ってきて大変迷惑。	・ 細切れな住環境が雑多な景観を作っている。町のコンセプトをはっきりしてほしい。 ・ 大型のトラックが多いのに道路があまり整備されておらず、段差などで必要以上の騒音が出ている。それなのに道が狭くガードレールに車を擦った跡があるのを何とかしてほしい。 ・ 田畑などの緑地はよく見るが、子どもたちが自然を楽しめるような公園が圧倒的に少ないと思う。

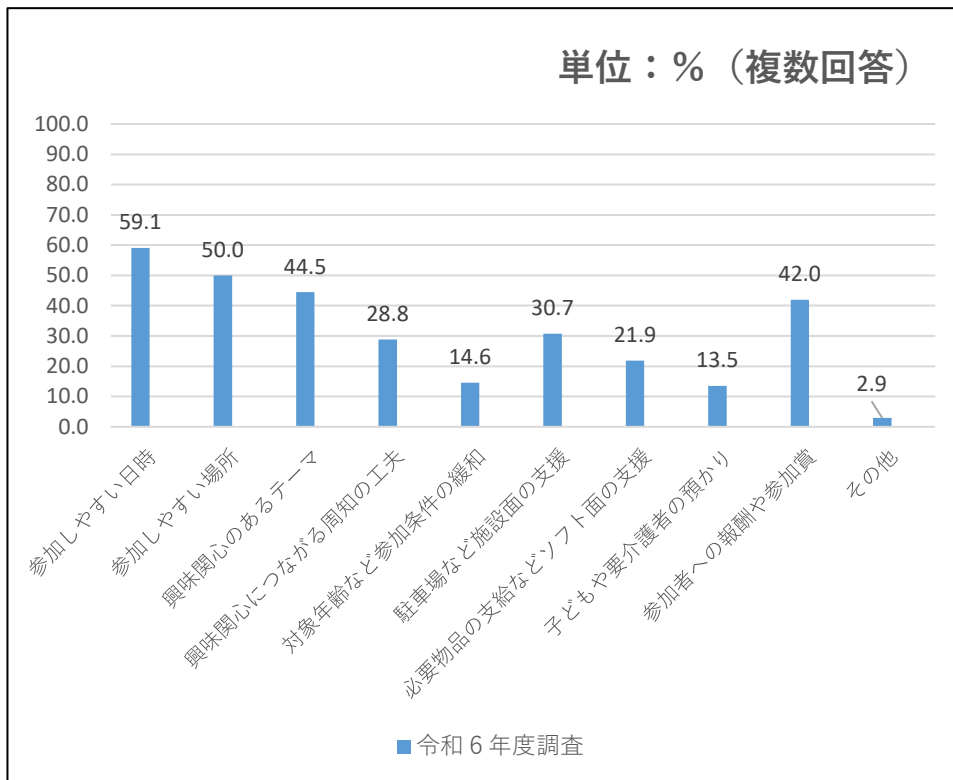
問 2 8. どのような環境活動に参加されたことがありますか。



※令和 6 年度では、「ごみ拾いなどの環境美化活動」及び「ごみの分別や減量化などの活動」への参加の割合が減少している。

※「特に参加したことはない」は今回に新たに追加。

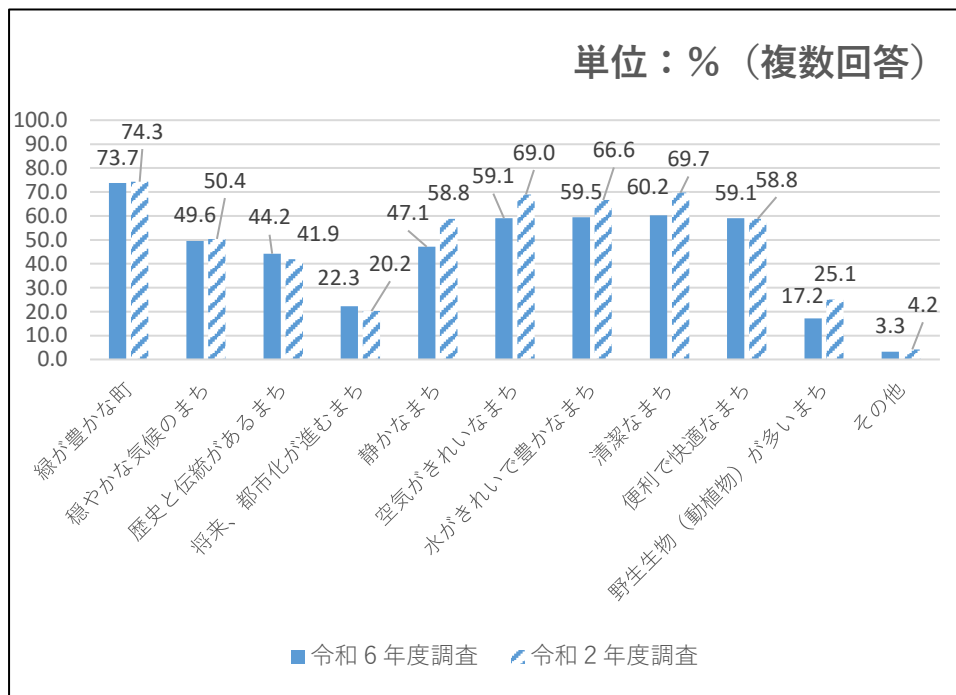
問 2 9. どのような条件が整えば、より環境活動に参加しやすくなると思いますか。



※令和 6 年度では、参加しやすい「日時」や「場所」、「興味関心のあるテーマ」のほか、「参加者への報酬や参加賞」も高い割合を示している。

※令和 6 年度新規の設問のため、令和 2 年度の回答データなし。

問 3 0.寒川町は将来どのような「環境のまち」であって欲しいと思いますか。



※令和 6 年度・令和 2 年度では、概ね同様の傾向を示しており、若干ではあるが全体的に各回答の割合が減少している。

問3 1. 寒川町の環境のよい例としていつまでも残しておきたいと思うものがあれば、ご記入ください。

一部抜粋

令和6年度調査	令和2年度調査
・まちぐるみ美化運動は、掃除の意識付けをする意味でもよい取り組みだと思っているので、今後も続けていければなと思っています。 ・越の山や岡田東部の水田地帯は緑や野生生物が多く、気軽に散策できるので残していきたい。 ・高い建造物がないので色んなところから富士山が見えるのは気持ちがいいです。	・さむかわ中央公園の桜や芝を残してほしいです。 ・神社、寺が多く、その周辺は自然も多く癒される。野鳥の森も貴重な場所だと思うので残してほしい。 ・自然を感じられるスポットが様々な所にあり、リラックスできる町であり、そしてそれが住宅の合間にもあるという点

問3 2. 寒川町内で環境が好ましくない場所があれば、ご記入ください。

一部抜粋

令和6年度調査	令和2年度調査
・目久尻川にゴミの袋などが浮いていることがある。雑草がすごく、木のように巨大化しているところもある。 ・農地や川などへの不法投棄が減らない。また、水田管理する農家が減ってきているため、今後水害などが発生しやすくなると思う。 ・野焼き、畜産臭の対応が出来てない。夜など関係なく急に臭うので窓を開けたままにする事が出来ない。	・ごみ置き場。ルールを守ってない人がおり、ごみが置きっぱなしのときがあります。カラスや猫でゴミが散乱しているときがあります。 ・緑道や川沿い、他の道路でも犬のフンがとても多い。マナーについての看板は見かけるが、ほとんど守られていない。子どもが散歩していて踏んでしまい困っています。 ・時々、家庭の庭でゴミを燃やしていて、その煙が風に乗って来ると不快、不安を感じます。

問33. その他、寒川町の良好な環境づくりについて、ご意見・ご提案があれば、ご記入ください。

一部抜粋

令和6年度調査	令和2年度調査
・交通の要衝でもあり排気ガスはかなり多い。また近隣地域の田畑の堆肥なども季節によっては匂いで洗濯物が干せず公害と言える。 ・水仙の花を育てるなど花壇の活動は活発になっているので、それ以外(ゴミ拾いなど)の活動がもう少し活発になればなと感じています。将来を考えて、子どもを巻き込んだ活動が出来たらよいな…と。 ・町の良好な環境づくりは、行政だけではなく町民の協力が必須です。町民の意識の向上や啓発などの取組が行政と一緒にできたら良いと思います。	・ごみ拾いなどの環境美化活動へ子どもたちの参加を促す。これにより、将来ごみのポイ捨てが減ることを期待する。 ・今後、寒川も都市化が進むと思われるが、都市化と環境悪化は比例するものと思われる。可能な限りの「環境に優しい都市化」をめざして町当局も、将来に向けて頑張っていたきたい ・一人ひとりの意識が大切だと思うので、良好な環境づくりに対する意識を高めて行動に移せるようにする。私も清掃活動などあれば参加してみたい。

総括

- ・令和2年度は、Web調査であるeマーケティングリサーチのほか、郵送によるアンケートを行い、全年齢をある程度均等に調査したことに対し、令和6年度では、現時点ではeマーケティングリサーチのみのため、30代～40代のいわゆる子育て世代が回答者の多数を占めた。
- ・上記のことから、今回の令和6年度の調査と令和2年度の調査では回答の内容に差異が生じることが想定されたが、実際には若干の数値の違いはあれど、回答の傾向としては概ね同様の傾向を示していた。
- ・これは第3次寒川町環境基本計画を策定した当時と、当該計画の前期期間がスタートして3年経過した現在とで、回答者の世代のバラつきはあっても、その認識がほとんど変わっていないことを意味している。
- ・なお、町民を取り巻く自然環境、中でも緑や水辺、空気のきれいさなどは概ね7割から8割程の肯定的な回答が得られている。特に神社などの文化的環境は満足度が高い。
- ・一方で騒音や振動、ごみのポイ捨てなど快適な住環境をおびやかす要因については、肯定的な回答が5割から7割程を推移し、依然として一定程度存在する状況にある。
- ・自由記述の設問における各回答も、上記の傾向と一致する内容を示している。
- ・これらeマーケティングリサーチの結果を踏まえると、中期期間に向けて良好な結果が出ている取り組みは引き継ぎ、課題のある取り組みは改善していくなど、計画の一定の見直しは必要と考える。